新京日日新聞
夕刊　七月十八日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月一圓十五錢
廣告料金　普通一行一圓五十錢　特別二圓五十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話③三二二五・三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　和波薫
印刷人　水越内之介

陸相に東條英機中將
外相に松岡洋右氏
海相は吉田中將留任

【東京發國通】陸相後任は十八日午前の陸軍三長官會議の結果、航空總監東條英機中將に決定した▼【福岡發國通】後任陸相に決定した東條英機中將は十八日午前七時平壤發空路東上、午前十一時太刀洗飛行場に着いた、東京着は午後四時頃の豫定である

【東京發國通】外務大臣は松岡洋右氏に決定、海軍大臣は吉田善吾中將の留任に決定した（寫眞は上から東條中將、松岡洋右氏、吉田中將）

まづ陸、海、外相と懇談
外交國防方策組閣前に檢討〔近衛公記者團會談〕

【東京發國通】大命を拜した近衛公は十七日畑陸相、吉田海相と會見後記者團と會見左の如く語つた

一、陸海軍の協調を希望組閣の大命を拜して今夜軍部大臣と會つたのは後任の銓衡を頼んだので陸軍大臣には米内内閣總辭職の經緯についてもよく聽いたが陸海軍兩方とも後任は十八日返事を受けることになつてゐる陸海軍の希望意見とか條件などといふものはない、私の方は陸海軍協調してやつて行くのに最も適當な大臣を出してもらひたいと希望した、これは私の軍部に對する條件ではないが希望だ

二、組閣前に最高國策檢討外交國防に關する根本國策については詮衡された陸海軍大臣と新しい外務大臣と一度腹藏なく意見を闘はしてみたい、内閣が出來ても意見が合はぬやうでは困るから陸海軍の方が決り次第つぎに外務の方を決めてやりたいつまり組閣完了以前において私とこの三人が外交國防の最高根本方策について檢討をする考へであるが、十八日午前中に陸海軍の方が出來れば外務の方を直ぐ決めて同日午後さういつた會合をしたい、これは今度の政變がたもので外交の轉換によつて起つたもであるが故に外交國防についても果して肚が出來るかどうかこれがすべての前提となるべきものであるからだ

三、組閣參謀や本部は設けぬ外務大臣については、いまのところ發表は出來ない、私がこれを兼任することはない、今回の組閣においては組閣參謀などといふものはおかないつもりだ、私獨自の考へでやる、組閣本部なども、たゞ閣僚を決めるだけのことだから特別にそんなものはいらぬ、電話ですむものは電話ですます

四、政黨への態度は未定だ必ずしも少數閣僚制はとらない、兼任で行くのも多少あるかも知れぬ、政黨に對してはどういふ態度をとるかそれは未だ決めてない、新政治體制の關聯においては政黨のことを考慮せねばならぬからだ、商工、農林、大藏、文部、内務の五大臣は兼任ではないそれ以外の兼任大臣をあとから新黨よりとると豫定してゐるものでないか或はとることになるかも知れぬ

五、組閣をやつてから新政治體制を　新政治體制の問題は本當は野にあつてその形成に向つて努力しなければならぬと考へてゐたが周圍の事情がかういふことになつたので新體制の方は多少遲れるかも知れぬ、組閣と新體制とは別個とは思はぬが一人の體で一度に出來るものではない、こゝ十日や廿日は内閣の方に專念するやうになると思ふ

六、組閣はさう簡單には行かぬ　十八日午前中に陸海軍大臣が出來れば同日午後にさきにいつた會合をするが今度の組閣はさう簡單には行かないといふことは内大臣にも話し手際よく早く出來るものと思つてはくれるなといつておいた、しかし拙速に墮せぬやうにしてなるべく早くやるつもりである、まだ内務大臣については考へてゐないし内閣三長官は一番後廻しになる

援蔣物資禁絶交渉
日英間意見完全一致

【東京發國通】クレーギー駐日英大使は十七日午後五時有田外相を訪問、去る十二日有田、クレーギー會談において原則的諒解に到達せるビルマ及び香港領域を通ずる援蔣物資禁絶問題につき最後的打合せを遂げたこの結果兩者間に完全に意見の一致をみ、こゝに同問題は正式解決するに至つたので、外務省は本件解決内容につき同夜八時次の如き情報部長談を發表したなほ英國側においてもこれと同樣趣旨に基きロンドンにおいてハリファックス外相が議會において説明を行ふ筈である

△外務省情報部長談　過般來英國領土經由支那向け軍需資材輸送禁絶方に關して日英兩國政府間に交渉中であつたが今般左の如く妥結をみるに至つた

一、香港よりの支那向け武器彈藥の輸出は昭和十四年一月以降禁止せられてゐるが日本政府の重視する如何なる軍需資材も現在同地から輸出せられてゐないし、將來も輸出せられることはない、なほ後述ビルマ輸出を禁止せられる貨物は香港においても輸出を禁止せられること勿論である

二、英國政府は本年七月十八日から向ふ三ヶ月間武器彈藥ならびにガソリントラックおよび鐵道材料のビルマ通過輸送を禁止する

三、香港およびラングーンにおける日本領事官憲は本件禁輸を有效ならしむるためとるべき措置に關して英國官憲と密接なる連絡を保持する

事變收拾を翹望
張總理、見解を披瀝

現下の日本の根本國策は支那事變の處理にあるのだから近衛公が再び大命を拜し出馬することは日本の國論を統一し日本の方針貫徹のために極めて有意義なことゝ思ふ、汪精衛氏を首班とする支那中央政權の樹立も結局近衛聲明に基いて確立されたものであるから近衛公の再出馬は事變收拾上各方面より翹望せられてゐたのである、人間としての近衛公は人格識見共に卓越した立派な人と思ふが、滿洲國としては近衛公が後繼内閣の首班として複雜多岐な時局に處し盡忠の信念を持たれ强力國家の建設に邁進されんことを祈つてゐる

近衛公の招電により
星野長官空路東上

星野總務長官は近衛公よりの招電に接し十八日午後零時二十分新京飛行場發臨時日滿連絡機で東上したが東京に於て企畫院總裁若くは拓務大臣就任の交渉を受けるものと觀られてゐる（寫眞は星野長官）

▼【東京發國通】滿洲國星野總務長官は十八日急遽上京の途についたが同氏は近衛内閣三長官の何れにか就任をみる模樣で、目下のところ書記官長として有力視されてゐる

長跳嘴を占領
鎭海作戰愈よ活潑

【上海十七日發國通】支那方面艦隊報道部十七日午後八時發表＝鎭海方面敵據點攻略中のわが海軍は本日午前航空部隊および艦艇部隊の緊密なる協同作戰のもとに長跳嘴に陸戰隊を揚陸これを占領せり

【上海十八日發國通】支那方面艦隊報道部十八日午前十時發表＝鎭海前面の敵を驅逐しあるわが陸戰隊は十七日午後五時宏遠砲臺、同五時卅分に金鷄山砲臺をそれぞれ占領せり

廣西省内輸血物資を爆碎

【〇〇基地十七日發國通】わが南支陸鷲鈴木、柿崎の各部隊は十七日午前廣西省柳州桂林道を急襲地上の熾烈な對空射撃の間を縫つて敵兵および軍需品を滿載せる約三百輛の貨車群に果敢なる爆撃を加へ全彈命中悽愴なる焦熱地獄を現出した一方青柳部隊は奉議、東蘭間の敵を襲ひガソリンを滿載して北上中の約六十臺のトラック群に巨彈の雨を浴せこれを炎上せしめた

珠江下流の敵掃蕩

怪戒克をにらむ艇首の機銃

日本側の壓力加重
重慶最後の關頭
近衛公出場の反響

【香港十八日發國通】重慶政界では新内閣の首班として近衛公が出馬したことに對し新體制運動の今日までの發展經過および現下の國際情勢に鑑み今後日本の對内外政策は一大轉換を齎し新内閣は軍事、政治、外交、經濟を總動員して日支事變の結末を急ぐとともに獨伊樞軸への接近と南進政策の積極化を具現するものとして多大の關心を拂つてゐる

しかして豫期される日本側の壓力の加重と國際情勢の發展によつて重慶側はいよいよ最後の段階に達したことが一般に認められてをり結局完全なる屈伏か乃至は焦土抗戰の二つの途のうち一途を選ぶほかなしとの感を深めつつあるものの如くである

萬幅の賛意
國民政府意向

【南京十七日發國通】大命近衛公に降るの報はいち早く國民政府側に齎されたが目下日支國交調整交渉が繼續中であるだけに深い感銘を與へてゐる、殊に近衛公は所謂近衛公三原則を提唱して日支永久和平の途を開いた當事者であるだけに近衛公の再登場は汪精衛氏を首班とする國府にとり最も良き理解者協力者を得たわけで汪主席以下政府首腦者何れも双手を擧げて歡迎してゐる、國府官邊の意向を綜合するに

一、近衛公が首相當時宣明せる事變處理方針は平沼阿部、米内三内閣を通じて不變一貫してをり、新内閣も素より右方針を堅持して事變處理に拍車をかけるものと見られこの結果は重慶政權をして愈よ苦境に立たしめ急速度を以て沒落の一途を辿る他なきこと

一、近衛内閣の再登場により日支關係は更に密接且友誼的となり目下商議續行中の日支關係調整會議に一段と圓滑なる進捗が豫想され、東亞新秩序建設の共同目標は急速に具現せられるものと期待されること

等が擧げられる、なほ國民政府としては近衛内閣の成立に際し何等かの形式を以て聲明を發し友邦政府に對する態度を宣明することとなる模樣である

佛印重大關心

【河内十八日發國通】日本政變の報に對しフランス側消息筋では政變の經緯に鑑み日本政局の前途を注視し特に後繼内閣の外交政策如何につき早くも種々臆測してゐる模樣で佛本國の敗戰による歐洲戰局の前途およびそれと關聯する極東の國際關係とともに日本の内政の動きと佛印との關係に付て絶大な關心を拂つてゐる

市井談義
お妾の責任
指導階級よ反省せよ

現在新京には三千三百九十餘名の妾生活者が居るとの首都協議會に於ける某代表の暴露は、各方面に色々の話題を提供してゐる▼全體こんな事實は、我々日系の名譽の爲、餘り大ッぴらにして貰ひたくなかつた。けれども既にされた以上隱しても仕方ない▼聞くところに依れば、この統計は或る確かな方面の調査に依るもので、所謂且那筋の名前も全部判つてゐるさうであると言へば尻のコソバユイ人も少くなからう▼實際舊市街方面に於けるアパートは半ばこの種の居住者で占められてゐる。中には通稱お妾アパートで通つてゐる所さへある▼某代表の叫んだ如く、この住宅不足の時代に、かゝる不生産的贅澤物を蟠居せしむる如きは、もつての外である。併し問題はそんな生ぬるいことではない▼青年精神教育問題はつまるところ親爺教育であり、上層指導階級に却て矯正さるべき精神的弛緩があるとは一般の輿論であるが今回の暴露は最も有力に之を證明する▼妾制度の如き惡風が、國民道德上斷じて看過出來ないことは、言ふまでもない。而して之は獨り上層階級にのみ存在する惡風である。中層階級以下では第一こんな眞似をしようにも、經濟が許さぬ▼滿系間に於ける所謂第何夫人の惡習は阿片吸飲と共に一日も早く絶滅せねばならぬに拘らず、その指導の責任にある日系のこのザマは何事ぞや▼政府、特殊會社及び協和會首腦部には、滿洲國建設、興亞の聖業達成のため、滅私奉公の誠を盡し身をもつて國民に範を示しつゝある人、もとより少しとせぬ▼併し乍ら、是等階級の中に其の思想並に行動に於て、國民の指導者たるに相應はしからぬ人も、また少くないやうに見受ける▼滿洲國建設は單なる知識、經驗、技術のみでは出來ぬ如何程練達有能の士でも之を一貫する至誠がなかつたならば、以て重責を負擔せしむるに足らぬ▼三千三百九十餘人の第二號の扶持者が、果してどんな種類の人かは今問はぬ。たゞ之が絶滅の責任が、當然指導階級にあることを銘記して、一日も早くかゝる恥さらしの狀態を清算すべきである。

汪主席暗殺陰謀の主魁逮捕

【南京十七日發國通】國民政府の重慶陰謀分子掃蕩工作が發展しつゝある折柄蔣介石直接の指揮下に汪主席暗殺の陰謀をめぐらしてゐたテロ團の首魁陳三歳が本月九日上海大西路美麗園で逮捕された旨十七日警政部より發表された

陳は米國コロンビア大學出身の在滬有力實業家の一人で三百萬圓の懸賞金で白系露人、支那人を狩り集め汪主席暗殺計畫を進めてゐたが和平運動に轉向した部下の忠告によつて遂に縛に就いたもので最近では抗戰の前途に見限りをつけ和平救國に努力すると當局に誓約してゐる

ル大統領三期出馬空氣濃化

【シカゴ十六日發國通】ルーズヴエルト大領は十六日夜シカゴにおける民主黨全國大會にメッセージを送り大統領候補の選定は全國大會に一任する旨通告したこのメッセージはバークレー大會議長によつて大會に披露されたが議長が「各代表は如何なる候補に對しても自由に投票されたい」と大統領メッセージの朗讀を終るや否や各州代表は一齊に「われわれはルーズヴエルトを求む」と呼號しながら約一時間にわたつて一大デモンストレーションを行ひ午前零時十分に至り漸く散會したかくて大會の空氣はル大統領三期出馬の空氣が濃厚となつた

チ外相再度訪獨

【ローマ十七日發國通】チアノ外相は再度訪獨することに決定した模樣で伊政府は十七日の記者團との會見に於ては何等公式に發表を差し控へた、尚十九日にはチアノ外相訪獨に關しコンミュニケが發表される筈である

その日〳〵

◈組閣工作、順調に進みつつあると見える、構想はこゝにもあつたらう

◈松岡さんも本舞臺へ、日頃の元氣を大いに見せて貰はう

◈すでにして人的體制だけでも、重慶如きを氣壓さす意氣あれ

◈ハル聲明は魔がさしたものだと言ふ、米國も暑くてのぼせたか

◈東京に、南京に、南支にそして歐洲へも米國へも、忙しく眼注がねばならず

想起せよ忠勇の跡
あす 寛城子事件廿一周年

回顧すれば二十有二星霜前大正八年七月十九日シベリヤ派遣軍の隷下にあつて寛城子に駐屯し東支鐵道南部線の

守備 に任じた步兵第五十三聯隊第一大隊（第二、第三中隊缺）が孟恩遠麾下の吉林軍と衝突銃火を交へ、我軍からは戰死傷卅六名を出した所謂寛城子事件は當時の長春市民は勿論日本朝野に大きな衝動を與へ紛糾した政治、外交問題を惹起したものだが、年を經るとゝもに關係軍官民も尠くなり漸く世間からも忘れ去られんとし當時殉難せる將兵の跡を弔ふもの亦跡を絶たんとしてゐるが、當時第一中隊長として活躍した現大同學院教授横山鑑氏はこの事實を遺憾とし銃後市民の覺醒をもとめて十九日午前八時から新京神社で執行の寛城子事件殉難者慰靈祭を前に「大正八年寛城子事件の顚末」と題する小册子を上梓當日參向の人々に頒布するとゝもに一般市民の忠靈への感謝を促すことゝなつたなほ同小册子は次の如き我が權益のために一歩も退かず護國の鬼と化した壯烈な戰鬪ぶりが詳記されけふの國都の繁榮に醉ふ人々を慚愧せしむるものがある

大正 八年七月十九日午後一時半滿鐵長春驛々夫船津藤太郎氏が舊露國步兵營東南約二百米にある吉林軍第三混成旅步兵第二團（約千六百名、機關銃一連）の露營地前を通行中支那兵約五名と口論毆打され負傷したゝめ守備隊に手當を求めたので、大隊長林繁樹少佐は直ちに軍醫に手當せしめるとゝもに電話をもつて長春日本領事館に通報し次いで住田大隊副官以下下士二、通譯代用兵一、兵六名が現場に急行犯人調査を開始一方大隊に緊急集合を命じ第一第四中隊の下士以下約四十數名を横山鑑第一中隊長に引率させ萬一に備へるため支那軍露營地に派遣した、住田副官の要求により支那側營長及び連長は直ちに應諾狀況取調べに着手したが、その一刹那約四十米東方の幕舍から監視のために幕舍附近に派遣してあつたわが兵に對し射擊負傷せしめ更に全露營地から猛射が起り副官一行も銃火の中にさらされるに至つた

古參 小隊長椎原中尉は直ちに部隊を散開させ應射したが、僅々四十數名の少數のため左翼を包圍されて死傷者續出し大隊副官は戰死、横山中隊長、各幹部は悉く負傷するの苦境に陷つたばかりか支那巡警も我に射擊を加へ來たり、包圍のわが軍は彈藥を射ち盡し後方補充も杜絶えたが幹部及び戰友を失つた少數殘存者は一歩も退かず、わが死傷者に對し見るに絶えざる行爲を加へる支那兵の暴擧を現認、齒をかみしめながら應戰中、これらの狀況を聞知し事態容易ならずと認めた林大隊長が兵舍に殘留せる全員を集合し應援に馳せ參じ漸く午後三時半頃敵軍を退却せしめたものである、この突發事件により新京草分けの人々たる當時の在留邦人の驚きは言語に絶し流言ヒ語が飛び人心洶々たるものがあつたが、同夜半より翌日に亘つて鐵嶺及び海城方面から步兵砲兵の部隊が來着し漸く平靜を取り戾すに至つた、戰死者の碑は最初住田副官の殪れた場所に假りにたてられたが、參拜の不便から當時の長春在留邦人の有志が協議の結果現在の

兒玉 公園の中に移し今の誠忠碑が建てられたものである、碑の中には遺骨の一部と火葬の際殘つた灰等も納められてゐる

お祭騒ぎを止めて 實戰の氣持もて
あすから綜合本訓練

吉林地區防空演習基礎訓練は十八日を以て完了し、十九日から廿一日まで最後の綜合訓練に入るが、四日間に亘る基礎訓練の成績は決して滿足すべきものではなく防衛司令部では防衛區管下七百萬民衆の關心を促して十八日午前十時來るべき綜合演習間における諸注意を次の如く警告した

我々は今回の防空演習がただ「演習である」との考へを捨て常に實戰の氣持を失つてはならない、燈火管制は當局の指導に從ひ萬難を排して規則通り實施しなければならない、また交通統制には末端に及ぶまでよく徹底し感情の行きちがひを起さぬやうにすると共に防火、防毒、救護、避難訓練實施には特に眞劍味をもつてやり遂げお祭騷ぎにならぬやう心がくべきである

再度の空襲も 鐵壁陣に空し
基本訓練 成果收め終止符

十八日拂曉の大空襲で微動だにしない防衛ぶりを見せた國都各防護部隊は引續き防備を固めたまゝ待機姿勢にあつたが午後一時小瀬にも敵機は大編隊をもつて急襲し來つた、期せずして砲門は開かれ一機、二機擊墜されて行く、だが必死の敵機は辛くも東光區通化路町會、文化國民高等學校に毒瓦斯、燒夷彈を投下して僅かに敗機のみ命からぐ\遁走

續いて銀蠅の如く執拗な敵機は又復午後四時三十分國都上空に飛來、防衛陣攪亂を企てたものの我が悠容迫らざる適確なる對空射擊の餌食となつて次々に火を吐きつつ落ちて行く、だが敵ながらも天晴れな挑戰に大同大街東拓ビル、順天區同治街町會第一國民高等學校に各種爆彈が落下した、一方地上防衛に待機してゐた防毒、救護、防火各班は被彈地區に繰り出して懸命な作業に被害も僅少に濟み、愈よ國都防衛に自信を深めるとゝもにその固き護りを誇る各防護部隊は一難去つて又一難に備へて寸時も油斷ない折柄六時に至つて空襲警報は解除された、だが訓練は終つたのではない引續き綜合訓練に入つたのだ

綜合訓練想定

一、滿洲國と某國とは七月上旬交戰に入れり
一、七月十九日早朝全滿に左記防衛令を下令されたり「滿洲國に即時防衛の實施を命ず」

建國神廟參拜
光榮の協和會役員

宮廷府内に御創建になつた建國神廟に對し特に協和會關係者に參拜を差許されることゝなつたが、この光榮に浴す首都本部委員、各分會連絡幹事長、正副分會長並に義勇奉公隊正副區隊長、正副分隊長、青少年團正副團長等七百有餘名は十八日午前十時宮廷府前廣場に參集三組に分れ午前十時、十一時、十一時半の三回に亘りそれぞれ協和禮裝に威儀正し指定の場所で淨祓を受け莊嚴なる神廟前に進み最敬禮を捧げて感激の參拜を終つた今回のこれ等協和會員に對し參拜を差許されたことは過般首聯に叫ばれた「公務員優遇問題」の具體的現れと見られるもので、一同は身に餘る光榮に一入の感激に打たれ赤心奉公を固く誓つた【寫眞は參拜の協和會員】

興亞書道聯盟展覽會
廿日から開催

東洋藝術、東洋文化の興亞一體化を目的に日、滿、華三國から五千有餘點に上る法書、繪畫、テン刻を出品した興亞書道聯盟展覽會は廿日から二十四日まで五日間大經路國民學校にて新京教育會、興亞書道聯盟、民生部主催のもとに開催

空の豪華祭典
全滿 滑空競技大會 八月の行事を飾る

〝滿洲の空を護れ〟この警鐘を亂打し四千萬民衆の心を大空へ驅りたてゝゐる滿洲空務協會は日本紀元二千六百年と改組一週年を記念して八月十六日から十日間國都新京に於て第三回全滿滑空競技大會を開催することになつた、この大會は全滿各支部はもとより日本内地朝鮮關東州の荒鷲を加へ競技は最初三日間は準備訓練のうち例年通りプライマリー、セコンダリー、ソアラーの三種に別ちて覇を競ひ更に本年は新に距離記錄高度記錄滯空記錄の三記錄滑空を擧行一般より豫想投票を行ひ適中者には遊覽飛行招待等の新しい試みを考案されてゐる

最終日二十八日にはソアラー曲技、落下傘降下、通信筒吊揚げ、航空ページェントなど全市民を空の一點に吸收し夜は航空映畫、日本に於ける滑空界の權威九大佐藤助教授の滑空講演なども開催する豫定である

燈管は新京最惡
野副總統監空中視察

吉林地區管下の防空演習狀況を視察すべく野副總統監は山本參謀を從へ十七日午後九時三十分から午前零時三十分まで約三時間に亘り國都をはじめ公主嶺、吉林の上空を視察したがその成績について次の如く語つた

燈火管制は一般に概して良く出來てゐるが吉林、公主嶺に比して新京は最も成績が惡かつた、殊に市街の中心地から離れたところは空襲警報を知らないのか煌々と電燈をともしてゐる有樣だつたが聞くところによるとサイレンの聽えないところがあるさうだ、かゝるところに對する警報通知は果してサイレンだけでよいものかどうか、もつと別な適當な傳達方法を考へなければならないだらう、新京にはまだ裸火が點々とあつたことは遺憾に思ふ、若し敵機が空襲したとして裸火が輝いてゐれば爆彈の一つも落したくなるだらう、公主嶺は殆どよく出來てゐた、農村地區も大體この程度のものだらう「一燈洩れて全市危し」のたとへ通り市民は自分たちの國土を護るためにもつと眞劍にならねばならない。何時までも「演習である」との觀念を捨てずいゝ加減なことをしてゐたのでは多大の犧牲を拂つて實施する防空演習は何の役にも立たない

東鞍山鑛區落磐

十八日午前四時半鞍山採鑛所東鞍山鑛區第二トンネル（長さ二四〇米）坑口から約四十五米の地點にて約二十五米の落磐あり入坑作業中の坑夫四十五名が生埋めとなつた、急報に接し昭和製鋼所淺間採鑛部長、南家次長、辻野課長外幹部一同現場に急行救出作業督勵中なるも山腹より百二十米の高さにある坑口の上に二十五米の落磐があることとて救出作業は困難の見込で憂慮されてゐる

弘報處に圖書班新設

總務廳弘報處では十八日から新に圖書班を設け新聞通信と並んでジャーナリズムの二大分野を形成する雜誌圖書の指導統制並にその育成整備に當らせることになつた

滿洲國に於ける定期刊行物は月々五百種以上の多きを數へてゐるが、この大多數は官公署又は特殊團體會社等の機關誌であり濫だしい跛行狀態にあり、これが整備充實と向上發達は以前から一部に强調されてをり、弘報處内でも豫々考慮中だつたのが、今回雜誌圖書政策の確立に乘り出したわけである

なほ新設圖書班々長には前新聞班員蘇正心事務官があたり前主計處の堀參事官が擔當指導に當ることになり弘報處放送班の隣りにデスクを並べ新設の意氣に張り切つてゐる

國兵法懸賞論文當選者發表

國兵法實施を控へて全滿の關心をこれにあつめるためさきに國兵法事務局が全滿から募集した懸賞論文「國兵法實施と吾人の覺悟」は應募論文百七十五篇についてかねて同事務局、弘報協會、弘報處員らからなる審査委員により審査中のところ第一次審査で卅五篇を採用、更に第二次審査で十九篇を選んで左の通り一等以下の入選論文を決定、十八日發表した

△一等（一名）＝吉林師道學校王世英
△二等（三名）＝錦州阜新鑛業所朱奐盒、黑河省黑河孫樹田、新京西道街許英（司法部檢務科屬）
△三等（五名）＝新京西四道街韓殿先、吉林市楊進

士胡同谷天增、承德糧市小北溝惠鄉、新京中央放送局報道課唐新我、奉天省東平街魯紹賢

神秘の白頭山に科學部隊が挑戰
けさ勇躍國都出發

滿鮮國境に聳え立つ雄渾壯大の靈域白頭山に科學の挑戰を試み山頂において紀元二千六百年慶祝通化省青年興亞動員大會を開催する通化省白頭山調査隊はいよいよ廿日撫松縣城を出發、山麓の白色地帶を究めつゝ廿三日東崗で通化省商工公會の白頭山探險部隊と合流して目指す白頭山へ向つて世紀の壯途につくが、一行には白頭山に科學のメスを揮ふ大陸科學院の科學者部隊が參加し植物、林産、鑛産、地質、溫泉、農業、畜産の各部門にわたり調査研究の手を差しのべることになつてゐる、この科學者部隊は植物研究室北川研究官をはじめ林産化學研究室福渡副研究官、平田研究士、治金研究室林副研究官、森崎研究士、新京鑛工技術院牛來助教授（兼任）無機化學研究室山田研究士、畜産化學研究室篠川研究士、院長研究室荒尾研究士ら九名で十八日午前九時四十五分新京驛發列車で科學戰士の意氣高らかに撫松に向つて出發したが、謎の資源含む白色地帶への科學者部隊の決死的挺身調査による成果は大いに期待されてゐる

東條新陸相
奉天より飛ぶ

東條航空總監は昨十七日要務のため來滿、奉天より同日夕刻來京、日滿軍人會館八十三號室に投宿する豫定であつたところ東京からの招電により十七日午後急遽奉天發飛行機にて歸任した消息通筋では陸相就任の交涉を受けたものと觀測してゐたが、果せるかな東條中將は十八日午前第二次近衛内閣の陸相に就任非常時陸軍を背負つて起つことになつた

韓電業社長

電業社長韓雲階氏は社長就任の挨拶を兼ね大連、奉天兩地方視察のため十七日午後一時四十分新京發あじあで大連に赴いた

全滿省次長會議

全滿省次長會議第二日は第一日に引續き十八日午前九時より國務總理官邸に於て開催、中央側の指示說は第一日に於て一應終了したので、第二日は中央、地方胸襟を開いて終始協調的空氣の裡に交易場改組問題、主要生活必需品の配給等の直接民生に重大影響を有する諸問題を俎上に眞劍に協議懇談を重ね、特にこれ等重要諸問題に關する中央側の指示說明に對して各省次長より現地特殊實情を述べて地方側の要望を縷々開陳し午後五時會議を終了したが今回の會議に於ては充分中央、地方間の意志の疎通が圖られ一致協力の下に重要諸政策の完遂に邁進すべき決意を新にしたことは今後の政策運營上多大の寄與を齎すものとして期待されてゐる

休暇を利用 夏の聖汗奉仕
國都滿系各校行事

いよいよ暑い夏を迎へて全滿の各學校では愉しい夏季休暇に入るが民生部ではこれら滿系學校、大學生に至るまで敬農愛耕の精神を培はせるとゝもに酷暑に耐へる健康增進をはかり徒らに休暇中を浪費せしめぬやうに各學校の勤勞奉仕を慫慂して來たが國都における滿系初等學生はすでに去る十三日から播種、耕作、除草、害蟲驅除、灌漑などの諸農事にあたり十七日午前九時から男子は市營苗圃、女子は大同公園の除草に尊い勤勞の汗を流した、なほ國都の上級學校でも次の通り各地に勤勞奉仕作業を行ふことゝなつた

△國立大學工鑛技術院＝全校生約六百名が去る六月初旬から建國神廟をはじめ校内運動場新設の勤勞奉仕を續けて來たが、更に來る二十七日午後十時三十五分新京驛發海拉爾に赴いて忠靈塔建設作業に從事し八月二十五日午前六時五十四分着列車で歸京する

△新京畜産獸醫大學＝夏季休暇中を利用して實習部隊を編成新京をはじめ哈爾濱、鐵嶺、通遼、洮南の各種馬場、哈爾濱、札羅木、三江口の各綿羊改良場、新京馬疫研究所及び公主嶺農事試驗場などの勤勞奉仕を續ける一方實習課業を行ふ

△師道高等學校女子部＝八月三日午前六時宮廷府御造營、同五日午前六時忠靈塔清掃、同七日午前六時黃龍公園植樹手入、同十日午前九時は建國神廟奉仕、同十二日午前六時新京神社清掃、同十四日午前九時陸軍病院奉仕、同十六日午前九時治安部病院のほか學校内の清掃作業を行ふ

△中央師道訓練所＝全所員三百二十九名は休暇中既墾地未墾地各〇・五クトづゝの土地に幸瓜、越瓜、茄子、トマト、人參牛蒡、葱、豌豆、菜豆、甜瓜等の播種を行ふ

△第一國民高等學校＝全校生五百五十名は八月二十日ころルーサンの收穫作業を行ひ收穫物は九月上旬軍へ獻納する

△市立女子國民高等學校＝全校生五百六十名は來る十九日午前八時から建國廟の建設奉仕を行ふほか二十一日は約一反歩に亘つてルーサンを播種し收穫のうへは治安部に獻納する

なほこのほか新京醫科大學では全滿各地に施療行脚を行つて惡疫撲滅に努めるべく計畫中である

綠蔭ところぐ\ （八）
佐久間晃

路面のアスファルトが燃えてるやうだ、バスも馬車も人も何もかも汗をダクダクかいて通る、ウオー、ウオー、ニーヤンが一人樹蔭で白晝夢を貪つてゐる、街の騷音を子守唄位にきゝながら、いづれ驛に辷り込む列車の汽笛にも夢を破られることならん、頭上の木の葉がユラリとも動かない（驛前廣場にて）

人事往來

▲荻原國一郎氏（靜岡日赤主事）十八日來京大都ホテル
▲磯邊保氏（東京日赤副參事）同
▲田代仙藏氏（日赤關東州主事）同
▲小澤勇氏（三重縣技師）同
▲飯岡清藏氏（奉天生必社員）同國都ホテル
▲石川鶴二氏（奉天ボールド會社）同
▲松村龍祐氏（同和自動車取締役）同
▲笠井次郎氏（奉天大矢工業）同
▲平郡宏明氏（奉天興亞土木社長）同
▲石田茂氏（奉天岡田組支配人）同三國ホテル
▲加藤治雄氏（奉天商工公會理事）同
▲坂本義子氏（奉天鞍河副長）同旭ホテル
▲讃岐九州男氏（哈爾濱滿鐵社員）同
▲野村正樹氏（奉天滿鐵社員）同
▲山代哲郎氏（錦縣パルプ會社）同

あす（十九日）

△土建協會會議 於國防會館正午
△滿拓公社需品部會議二日目 於軍人會館午後一時
△發明展覽會六日目 於寶山百貨店
△常岡丑三郎氏洋畫小品展三日目 於三中井百貨店

今晩の放送

▲七・三〇（大阪）國民歌謠「白百合」他、德末義子
▲七・四〇（新京）特別講演「建國神廟創建に關する詔書を奉戴して」三毛一夫
▲八・〇〇（大連）合唱「親しき昔」他、JQAK合唱團▲八・二〇（名古屋）錄音「海」▲八・三〇（齊齊哈爾）短歌朗詠「北滿夏五題」鬼木魁▲八・四〇（安東）朝鮮歌謠▲九・〇〇（東京）連續物語「怪談牡丹燈籠」德川夢聲

夕刊娯樂　明朗三角友愛

髪は男刈りにし、くるくるつとした眼玉、小柄な身體、若鮎のやうに潑ラツとした宇城江ユク子は××ダンスホールのダンサーであつた。一體に若い男性に好かれるモダンテイに富んだ子であつた。あやしげなフイリツピン語などを覺えて來て妙な所に使ふ。するとそれが忽ちにホール仲間の間の流行語になるといつたさうした愛すべき稚氣をも持つてゐた。何年か前に、音樂をやる男を愛人にしてゐたといふ話であるけれども、それは一種の傳說みたいなものであらう。見たところ十八くらゐにしか見えぬ初々しい彼女が、そのやうな歷史を背負つてゐようとは一寸想像されぬことであつた。尤も、賣れない壁の花どもは「アノ子アレデ、セイ病を患つたことがあるのよ」以て知るべしといふやうな事を蔭に聞くこともあつたが眞實であつたかどうか、神と彼女のみの知るところである。

さてこの宇城江ユク子に戀をした二人の男があつた。その一人は柔道の强い男で、或る紡績屋の息子であつた。もう一人は軍人の息子で、弱氣な不良少年型の、しかし根は純情な男であつた。

神樣も時に惡戲をなさるのであらう。上記二人の男たちが親友であつたことも妙であるが、或る月の或る日、二人は同じほどの心の燃やし方をしてユク子に愛の手紙を書いたのである。

二つの手紙は同じ時刻に投函され、彼女の所に一緒に屆いた。後で彼女が語つた所では、手紙の文句までがよく似てゐたさうである

彼女はそれから二人に返事を書いた。

「某月某日午後何時、○○公園においで下さい、サンドウイツチでも持つて、私お友達を連れて行くかも知れないわよ　ユク子」

待望の日は來た。綠蔭に會うたのは當然に二人の男とユク子であつた。三人はそこでみんながお友達であることを改めて認識し、それからハイキングと出掛けタンポヽを摘んだり蝶を追つたりしたといふお話である。……ダンス華やかなりし頃の一つのエピソードである。（南穀北男）

封切二週制を東寶で採用か　一本制時代の到來

四本も五本も並べ立てゝ、盛りのよさで客を引いたのは今は昔の物語、昨今では何處の社も、原則的には一本興行制を採つて、長期興行が流行してゐる、これまで製作會社では月八本を製作し、每週二本宛を封切りして行くのを金科玉條の如く心得てゐた、考へてみれば全く贅澤の限りである、それでは興行は事業的にもうまくは行かんし、第一その結果はどうしても濫造粗製を免れないといふ譯で、この續映主義の本家は東寶の大御所小林一三氏だが最近更に首腦部で協議を重ねた結果、二週制を原則的に採用することになつた　本社はやれるだけ長くやるといふのが方針だが今後は封切りを二段構へにした、つまり日比谷劇場或は日劇で封切りしたものを、更に續けて東橫、新宿東寶、江東劇場等で封切り興行を打つ、つまり二週間はそれで續くわけだ

かくて東寶では最短期間を二週と定めるに至つた譯でこれに對して、他社かどのの手を打つて出るかはまだ判然とはしないが、各社も又それぞれ二週間を最短とする長期興行制を採用するのは極く最近のことゝ見られさうなつた場合には二、三番館は非常な苦境に陷るのは必然なので、これに對する二番館以下の今後の動きは最も注目されてゐる

"巡閲使"を放送　廿八日舞臺より中繼

公演を目前に控へて猛練習中の大同劇團の「巡閲使」は各方面から期待を以て迎へられてゐるが、新京中央放送局では舞臺中繼放送をすることゝなり、二十八日午後八時より十時までと決定したが、五時間を要する劇とて劇の中心となる第三幕、第四幕のみを中繼する

國劇研究部の回鑾慶祝演藝

新京中央放送局國劇研究部では皇帝陛下回鑾を慶祝して弘報協會、滿映、演藝協會、協和會、首都本部、新京特別市社會事業聯合會などの後援のもとに來る廿二日から三日間每夜七時から長春大街國都影戲院で演藝大會を開催する、入場料は一等一圓五十錢、二等一圓で其の純益金は國防獻金および軍警慰問に獻納する

▽▽姉の出征△△　東寶映畫、妹（高峰秀子）の志望は父の反對を押切つて、東京にゐる姉（山根壽子）と同じ樣に赤十字看護婦になることであつた、その姉が休暇で歸つて來たのと隣家の息子（三田國夫）が歸農兵として歸つて來たのは同時であつた、彼等の內祝言の相談が交されてゐたが突如姉に出勤の電報が來た、姉から懇とさとされて家の留守を守り田畑に働く決心をした妹は姉の乘る列車を見送るのであつた、小杉義男、英百合子、伊東薰、神田千鶴子、森野鍛冶哉助演、近藤勝彥の演出になる、帝都キネマ次週封切

雜音

防衛訓練が日を重ねるに從つて街行く人の影も少く、映畫館もいさゝか疲れ氣味の樣である、新京に夏枯れ無しとはいふものの用心するに越したことは無い▼プログラムはこの穴をねらつてか珍しくも帝キネ、銀キネ、朝日座の三館が仲良くお古の洋畫大會、二度三度の勤めながら封切時には好評だつたもの〻二本立だからどの館もそれ相當だけの客足は呼んでゐる▼續くものは「女性の覺悟」第二部「或る女辯護士の告白」「幡隨院長兵衛」等各館とも見た目だけパツと華やかな夏向きのものが並んでゐるからこの調子は良くも惡くもならず續くであらう

新京日日新聞

朝刊　【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一ケ月一圓五十錢　一部五錢　廣告料金　普通一行一圓五十錢　特別同二圓五十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話③三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠　編輯人　和波薫　印刷人　水越内之介

型破る組閣工作
國防外交の基本方針定む
けふ國策會議開催

【東京發國通】組閣第二日の十八日、陸相に東條英機中將、海相に吉田善吾中將の留任、外相に松岡洋右氏の入閣を決定したが、近衛公は重大時局下の組閣に萬全を期すべく、十九日東條、吉田、松岡三氏と荻窪の私邸に於て、國防、外交の最高方法針につき隔意なき意見を交へ、完全なる意見の一致を見たうへ、本格的組閣工作に乘出すこととなつた

陸相就任受諾
阿部次官正式回答

【東京發國通】近衛公より後任陸相の推薦を受けた陸軍では、航空總監東條英機中將を推すことに決定したが、天候不良のため同中將の歸京が遅れたので電報をもつて交渉の結果その受諾を得たので十八日午後四時四十五分阿南次官が荻窪の私邸に近衛公を訪問後任陸相とし東條中將を推す旨正式に回答した

荒天を衝き東上

【大邱發國通】近衛内閣の新陸相に決定を見た東條中將は副官森少佐を帶同、十八日午前七時平壤飛行場發東上の途天候不良のため同九時五十分朝鮮大邱飛行場に不時着し天候恢復を待つ間往訪の記者の「お目出たう」に「なんだ今さらそんなことを云はれる覺えはない」と云ひながら「萬一陸相に就任するとせば畑陸相の堅持する新政治體制を愈よ强化する許りだ」と元氣一杯に語り森副官を通じて「東京に着いてからのことはどうするか全く見當がつかない」と語つた、なほ東條中將の搭乘機は午後三時一旦大邱を飛立つたが再び惡天候のため引返し、さらに午後四時、三度荒天を衝いて一路東上の途についた

近衛公とは公務上知合ふ
東上の途星野長官語る

【平壤發國通】近衛公の招電を受けて新京より急遽空路東上中の滿洲國總務長官星野直樹氏は十八日午後三時卅五分平壤着、パナマ帽に協和服といふ輕裝で機上から降り立つた星野長官は突然招電を受けたので自

分には何も判らない、近衛さんとは個人的には親交はないが、公務の上で度々お世話になつたことはある拓務大臣とか企畫院總裁なんといふことは君等の作つたデマだらう」と語つた、なほ飛行場休憩室で少憩の後、同三時五十分離陸大邱に向つた

大刀洗着

【福岡發國通】陸軍首腦部の招電に接し急遽歸京の途に就いた航空總監東條英機中將は朝鮮海峽の天候回復をまつて午後三時大邱出發同五時四十二分大刀洗飛行場着同五十分出發空路東上した

立川着

【立川十八日發國通】十八日午後五時五十分太刀洗飛行場を出發した東條英機中將搭乘機は途中惡天候を冒し同九時五十五分立川飛行場に到着した

大邱に引返す

【大邱發國通】近衛公の招電により急遽飛行機で東上の途に上つた星野滿洲國總務長官は、十八日午後五時十五分大邱飛行場に安着、直ちに福岡に向つたが、天候不良のため引返し午後七時十五分大邱に着陸した

列車で東上

【大邱發國通】星野滿洲國總務長官は十八日午後五時五十五分大邱飛行場着、少憩の後同六時三十五分天候回復の見透しがついたので雁ノ巢に向つて一路飛び去つたなほ下關より夜行列車で東京に向ふ

鎭海要塞を撃破
敵本據へ猛攻進撃

【○○基地にて十八日發國通】十七日未明鎭海要塞地帶前面の海上に布陣したわが艦艇の一齊砲撃と海軍機の掩護下に行動を起した奇襲上陸部隊は、敵の猛烈な抵抗を排除して午前六時卅分算山島東側地區の敵前上陸に成功、附近一帶の砲臺より必死の反撃を試みる敵を蹴散しつつ同十時には白鷄山砲臺を占領、潰走する敵を急追して同五十分長跳嘴砲臺に突入同砲臺を占領し砲臺高く軍艦旗を掲げたが、再び息つく間もなく進撃を續行午後五時宏遠砲臺同卅分には金鷄山砲臺を占領した、かくて敵が最後の援蔣基地鎭海の護りとして規模の大と難攻不落を誇つてゐた鎭海要塞の大半はわが無敵奇襲部隊の足下に一瞬にして蹂躪されたのであつた、殘餘の砲臺にあつて抵抗を續ける敵もいまは全く浮足立ち海空よりする間斷なき砲爆撃とこれに呼應する奇襲部隊の挺身進攻の前に居たゝまらず夜陰に乘じて漸次後退しつつあるが十八日は拂曉より海陸空緊密な聯繋のもとに敵の本據鎭海へ向け一齊攻撃を開始した

興化灣閉塞

【○○艦上十八日發國通】南支艦隊報道部發表＝十七日南支艦隊の有力なる一部隊は昨十六日の泉州攻撃に呼應し同地東北約四十浬の興化灣を急襲、各艦より選拔せる閉塞部隊は飛行機および陸戰隊の掩護の下に敵の抵抗を排しつつ灣内深く進入、夜陰を利しジャンクその他の障碍物をもつて興化河港の困難なる閉塞を敢行して福建省沿岸における有力なる援蔣ルートの遮斷に成功せり

城頭に日章旗
海軍陸戰隊鎭海占領

【軍艦○○にて十八日發國通】十八日午前十一時甬江を敵前渡河し一氣に鎭海城内に突入した海軍陸戰隊西村部隊の精鋭は引續き城内の殘敵を掃蕩、午後二時鎭海を完全に占領城頭高く軍艦旗を飜へした

省次長會議
教育問題懇談

省次長會議第二日の中心議題である「在滿神社及教育行政刷新充實」に關する懇談會は十八日午前九時より開催、秦武官並に星野長官より在滿日本人教育の重要性を强調、次いで岩松在滿教務部長より現地教育事情視察の感想並に今後の教育方針に關する懇切なる説明あつて後在滿神社及教育行政の刷新充實に關し種々懇談を行ひ正午散會

後繼内閣に光る新閣僚

東條陸相
公務には峻嚴
私生活は至極氣輕な好人物
陸大同期の金子副本部長談

憲兵隊司令官、關東軍警務部長、副參謀長、參謀長と四役つぎつぎに果して康德二年十月から約三年間新京に在勤滿洲國とすつかりお馴染の東條英機中將が近衛内閣の性格をはつきり物語る一つの面としての陸軍大臣の重責についたことは滿洲國民衆に新内閣への愛着をいよいよ深めさせたが、殊に新京には三男敏夫君が白菊小學校に在學してゐた關係から學童を通じ新陸相に私淑する人も少くなく、その期待も多きいわけだ、かうした知・學友を代表して陸大で同期生として机を並べた事のある協和會首都本部副長金子定一少將は語る

士官學校は私より二年先輩として終始尊敬してゐました、陸軍大學は二十六期の同期生で青春時代を一緒に過したわけです、公務については飽くまでも正しく非常に峻嚴であつたが私生活の彼は至つて氣輕な好人物だつた、彼の父は有名な東條英教將軍で日清戰爭時代には川上操六將軍の四天王の一人として著名だつたが晩年は不遇に終つたこの父の晩年の不遇に發奮した彼は士官學校、陸大共に優秀な成績を續け親まさりの定評があり、板垣征四郎中將も時々彼に向つてこのことを言つてゐたやうです、若い時分には奔放な所もあつたが、正しいと信じるものは何處までもやり拔くといふ信念を當時から持つてゐた、非常にやかましやのがむしやら將軍のやうに傳へられてゐるが、奥さんは非常に明朗なお方であり、將軍もやかましやの反面非常に氣がるな明朗な人間で興亞建設途上の陸相として腕を揮ふことが期待されてゐる

内蒙作戰に武勳
中島鈆三少佐談

【東京發國通】東條新陸相が關東軍參謀長時代關東軍報道部員であつた現陸軍省情報部員中島鈆三少佐は戰略家としての將軍を左の如く語つた

支那事變勃發當初、東條將軍は關東軍の精鋭を選つて支那事變に參加、承德から滿蒙國境の多倫に出でそれから張家口の遙か北方に進撃し張家口方面から反撃してくる支那軍と南口鎭方面で對峙してゐたわが北支方面軍の側背に廻つて支那軍を牽制する一方、外蒙から内蒙を窺ふ赤軍と協力して内蒙攪亂を企圖する傅作義軍を擊破事變當初の内蒙作戰に輝やかしき武勳を樹てた察哈爾作戰軍の兵團長こそ東條將軍だつたのだ、この作戰は從來公にされてゐなかつたもので東條兵團は承德から多倫に至る蜿蜒六百キロの蒙古の大沙漠地帶に戰史未曾有の後方連絡線を確保し兵站基地を設けて精鋭を誇る日滿蒙軍を指揮破竹の進撃を續け十二年八月二日には遂に長城線を突破して廿四日張家口に入城し京綏線を遮斷我軍の南下を阻まんとする張家口、南口鎭方面の支那軍の後方連絡を完全に遮斷しわが進撃の道を開いたのだつた、續いて九月十三日には大同に入城十月十四日綏遠同十七日包頭を陷れ瞬く間に内蒙一帶を制壓してわが北支方面作戰の急展開の端緒を開いたのであつて東條兵團の活躍こそ支那事變勃發當初のわが北支内蒙方面の作戰に重大な意義をもつものであり戰略家としての東條將軍の偉大さが今更ながら偲ばれる

略歴

【東京發國通】陸相に決定した東條英機中將は智將の聞え高かつた故英教中將の三男で本年五十七歳陸士第十七期歩兵科出身、中部防衛司令官岩松義雄、飯田貞固、篠原義男、荻洲立兵各中將は同期である明治卅八年歩兵少尉に任官し昭和十一年十二月陸軍省整備局動員課長、軍事調査部長などに歴補され昭和九年八月關東憲兵隊司令官に補せられ、同十三年五月陸軍次官に任ぜられたのち同年十二月航空總監兼航空本部長に補せられ今日に至つた

新體制の先驅者
外相、松岡洋右氏の活舞臺

【東京發國通】世界新秩序の活舞臺に新たなる外交方針をふりかざして登場する近衛新内閣の外務大臣に民間外交界のナンバーワン松岡洋右氏が振り當てられた日本は日本主義だと昭和七年國際聯盟會議でリツトン報告の非を鳴らし光榮ある孤立四十二對一の聯盟勸告案を敢然蹴つて退場した松岡全權の姿こそ今われ／＼の瞼に思出される、そして歸朝後早くも既成政黨解消を叫んで政友會を脱黨、滿鐵總裁として大陸經營に縱横の腕を揮つた松岡氏こそは近衛新政治體制のもとに生れ出づべくして生れ出た新外相だ、努力力行の「人間松岡」の歩んで來た道はそのまゝいばらの道を開く新日本の胎動に通ずるともいへやう十四の時から人の厄介になつたことはないと自ら云ふやうに十四歳の時移民に伍して渡米、苦學でオレゴン大學を卒業廿三歳で歸國、廿五歳で外交官試驗に合格以來十七年間外務省の飯を食つて來たが華やかな外交官生活に似合はぬイガ頭と顔の太い線が氏の氣魄を雄辯に物語つてゐる

寢言は英語でいふ程語學に堪能で、昭和五年代議士として出馬し政治は素人といふ口の下から演説口調で堂々政見を發表し殊に支那通としてジュネーヴの檜舞臺では「大和民族の要求は最小限度の生存權である」「滿蒙は帝國の生命線である」と喝破し世界を驚かした快男子松岡は政黨政治は國民性と副はぬと政黨解消を絶叫し内治、外交の刷新を說いて全國に行脚した新體制の先驅者でもある

不言實行だ！

【東京發國通】松岡さんが外務大臣に決定した新たなる構想による新たな組閣振りを見せる本陣の荻外荘一番乘りは松岡洋右氏だつたこの日松岡さんは近衛さんからの電話で荻外荘へ赴き十一時半自宅へ歸り記者團と會見し

今お受けして來た、午後からの會議の順序をちよつと聽いて來たほかに別段話はなかつた、こちらから近衛さんに話すこともないし、近衛さんも胸三寸にはもうちやんと段取は出來てゐるさ、近衛さんは淡々たるものだ、組閣本部の女房役も置かず組閣本部も置かず兎に角自分一人の手でやつて行かうといふあの氣慨には泣かされた、兎に角頑張らなきやあ、もう僕も喋べるのは飽きたからこれからは不言實行だ

と語つたあとは默々として何か思ひに耽り往年の喋り屋の異名を取つた快辯松岡さんも寡言沈默、外相としての心構へを既に示してゐる

略歴

【東京發國通】外相に決定した松岡洋右氏は山口縣出身本年六十一歳米國オレゴン州立法科大學を卒業し明治卅七年領事館補として上海に在勤したのを振り出しに總領事、外務省情報部長等を歴任、大正八年講和會議全權委員を仰付けられたのを最後に官を辭し、昭和二年田中内閣の時滿鐵副總裁となり、昭和八年ジュネーヴにおける聯盟總會に帝國首席代表として列席リツトン報告書採擇の不當を鳴らし熱辯を揮ひ遂に聯盟を脱退するに至つたことはあまりにも有名である、昭和十年八月滿鐵總裁、同十三年十月内閣參議を仰付けられ同十四年四月總裁を辭任ついで米内内閣成立の際内閣參議を辭任し現在に至つてゐる

新穀年度對策の根本方策を確立
省次長會議の收穫

政府は行政機構改革により興農政策を滿洲政治の最前面に押出し、重農主義への一大轉換を遂げ農業國策の完遂を圖るため主管部たる興農部を中心に、外廓團體たる滿洲糧穀、特産專管、穀粉管理各統制會社並びに興農合作社機構を總動員して積極的に增産施設を講ずるとともに中央、地方の連繫を密にし以て興農政策の完遂を期すべく十七日より二日間にわたり全滿省次長懇談會を開催したが、同懇談會の結果、當面の最重要課題たる交易場整備、特産專管制度强化その他農産物統制再强化、農村生活必需品確保問題等の農村關係當面の重要問題につき中央、地方の意見一致をみるに至り、新穀年度に於ける農業對策に關する根本方針は事實上確立されたものと見ることが出來る

即ち重要特産、主要糧穀をはじめとし滿洲農産物並びに農産施設等當面の諸懸案は解決に向つて一歩前進せるものと云ふべく合作社機構の整備運營方針の確立、農産物統制再檢討の完了等より見てこれ等統制具體策は今回の次長懇談會終了と共に一段と促進され今月末迄には決定の運びに至るものと豫想されるに至り、天候に惠まれた農産物增産はこれ等諸政策の圓滑なる遂行によつて一層拍車をかけられるものと期待される

日滿支三國の經濟統制强化
戰時財經計畫決定

【東京發國通】昭和十五年度の資金計畫對滿支貿易計畫および交通動員計畫はかてね企畫院において關係各廳と協議立案中であつたが、十八日の臨時閣議に附議決定し企畫院總裁談の形式で左の如く發表された、かくてこれによりさきに決定した物動および貿易ならびに勞務動員の三計畫と密接な有機的關聯をもつ戰時財經六計畫が全部本極りとなり今後この六計畫を根幹として戰時經濟統制が一層强化されることになつた

一、資金統制計畫　現下わが國の財政經濟政策に照應し特に公債の發行及び消化、事業資金の需給調整滿支に對する資金供給ならびに資金蓄積に關し計畫を定めこれに伴ひ必要なる措置の大綱を決定した

二、對滿支貿易計畫　本計畫はわが國と滿洲および支那との間の輸出入貿易額を概定し、物動計畫および資金統制計畫と照應して彼我の間の國際收支の均衡を保持し、圓ブロツク經濟の健全なる發展を圖らんとするもので日滿支各地域間の物資の交流を圓滑にし、通貨價値の安定を確保するは日滿支經濟ブロツク建設の基本であるのみならず現下わが國内諸般の經濟政策の遂行にも極めて重大なる關係を有するが、從前の部分的日滿經的措置をもつてしては到底所期の目的を達し得ないのでこの際物資、通貨及び物價につき綜合的調整を行ふことが必要である、本計畫は

イ、わが國より供給すべき物資の數量はわが國の第三國輸出の維持進展及び國民生活の確保に支障なき範圍とし滿洲より供給を受ける物資の數量は現地の事情の許す限りなるべく多からしめる

ロ、交流物資は各地域の消費統制方針ならびに滿支における圓系通貨價値維持政策に即應し適當なものを選ぶこと

ハ、滿支に對する出超額は貿易外收支上の支拂超過額に照應せしめもつて對滿支國際收支の均衡を圖ることを主眼としてこれを實施し、對滿支の各輸出入計畫及び各貿易外收支計畫を設定した、しかしてこれが實施のためには各地域とともにその輸出品の蒐荷及び輸出機構の整備を圖り交流物資の價格を統制するなど各般の措置を講ぜねばならぬ

三、交通動員計畫　本計畫は運輸通信に關して實施すべき主なる統制方策を定めたものであつて昨年度の實績ならびに現下内外の諸情勢を考慮し本年度は全般的に統制を一層强化するとともに特に重點を海上輸送の確保におき極力船腹の増加を圖るとともに海運の統制を一段と强化しもつて重要物資の輸送確保を期した、陸上輸送についても海上輸送と同樣現在客貨輻輳の狀況を緩和するため輸送統制の强化に努めた

ル大統領三選
民主黨大會で指名

【シカゴ十八日發國通】ルーズヴエルト大統領は十八日早曉シカゴの民主黨大會において遂に一九四〇年民主黨大統領候補に指名された

米民主黨の新政綱

【シカゴ十七日發國通】民主黨全國大會は第三日の十七日午後左の如き同黨の新政綱を採擇した

一、米國を外國の戰爭にまき込ましめざることを約す

一、侵略に對する防衛措置の萬全を期し民主主義を强化すると同時に米國の經濟能力を增進するためニューディール政策を再確認する

しかして右政綱によつて民主黨の外交政策は孤立主義と間接主義との妥協を示唆するものとして注目される

日滿共同提出議案を決定

日滿農政研究會日滿共同幹事會は十八日午前十時より軍人會館に於いて開催、農政年次報告、專門委員會研究報告對策並びに日滿當面の諸問題につき提出議案の討議を行ひ共同提案事項として

一、農産物增産計畫の日滿配分の件

一、滿洲農産物對日供給確保の件

一、開拓政策と增産計畫との連繫强化に關する對策

その他數件を決定、尚は滿洲側は開拓、農業問題の躍進を圖るため劃期的國民運動展開の提議をなすことに決定した

米内内閣の最終臨時閣議

【東京發國通】政府は十八日午前十一時より首相官邸に臨時閣議を開き竹内企畫院總裁より昭和十五年度資金動員計畫、對滿支貿易計畫および交通動員計畫を説明これを決定した、これによつて昭和十五年度物動計畫體制は完備したわけである、ついで島田農相より肥料補給金一千七百二十八萬五千圓を第二豫備金より支出すべき旨を報告決定した、最後に米内首相より在官中の閣僚の協力に對し謝意を述べこれに對し有田外相が閣僚を代表して答辭を述べ正午米内々閣最後の閣議を終つた

阮大使富浦へ

【東京發國通】阮駐日滿洲國大使は千葉縣富浦海岸に合宿夏季訓練中の留日學生の訓練狀況を視察、督勵のため十八日午前九時兩國發列車で富浦に向つた、なほ大使は同海濱訓練所に一泊十九日歸京

朴錫胤氏東京へ　元駐ポーランド總領事朴錫胤氏はポーランド動亂の歐洲を引揚げ新京に歸任中であつたが、所用のため十八日午後六時五十分新京發のぞみで東京へ出發した

人事往來

▲石井昭乙一氏（官吏）十八日來京ヤマトホテル
▲渡邊柳一郎氏（奉天會社員）同
▲原田正雄氏（奉天理化學研究所）同大都ホテル
▲土井淑行氏（吉林特殊製紙會社）同
▲吉村正雄氏（奉天會社員）同
▲内田清雄氏（安東大東港事務所長）同國都ホテル
▲空賀徳平氏（吉林水力電氣）同
▲堀起建吉氏（大連滿洲水産販賣）同
▲岩間鑑一郎氏（吉林土建協會）同三國ホテル
▲棚橋悌吾氏（滿洲輕金屬）同
▲八田善三郎氏（哈爾濱日滿商事）同
▲山下稔氏（京城官吏）同
▲吉川喜一氏（牡丹江市公署工務科長）同
▲大垣圭一氏（大連請負業）同
▲傳崎正郎氏（東京メリヤス製造販賣）同
▲井上一氏（哈爾濱駒井洋行）同
▲吉田龜太郎氏（奉天機械業）同

新政治體制はいかなる點にその特質を持つものであらうか。思ふにその重要點は國内政治組織の再編成といふことにあるであらう。それは現下の諸情勢よりして不可避的な要請として當面の課題となつてゐるものなのである。それが當面の課題になつてゐるといふのは、つまり國内政治體制の上に缺けたるもの、不充分なものがあつたことを語つてゐる。從前にはそれでよかつたものが、情勢の變化によつて舊來のものでは不充分であり、時局下の重要な使命を遂行するに耐へられなくなつたことを意味してゐる。

× ×

それならばこの新しい編成はいかにして行はれようとするのであるか。それが先づ新黨運動といふ形式によつて動き出ようとした時に、たまたま米内内閣の總辭職となり、後繼内閣組織の大命を拜した近衛公は、新政治體制の問題は速急には行はれなくなつた、先づ自分は組閣のために努めねばならぬとの意味のことを語つた。新黨運動はこゝに於て暫らく延期されたかたちである。新黨運動その事に從つてゐた諸氏も今は政變の動きを靜觀してゐるわけなのであらう。

× ×

しかし新政治體制の問題は早晩何とか決定的な動きを見せるであらうことは必定である。新内閣はこのためにもおのづから備へるところがあるであらうし、近衛公が新黨運動の首班的な地位に立つてゐた以上、新黨運動にとつても好都合な環境がつくり出されることであらう。こゝに考へられることは、この時に於いて國民全體の總意といふものをいかにしてこの新しい動きの中に反映せしめるかである。この事は考ふればおのづからそこに道が存することがわかるであらう、更になほわれらは事態推移を見よう。

滿洲財界の各層　强力内閣を期待

新政治體制胎動の最中、新情勢めまぐるしい全世界の注目をあびて敢然再度難局を背負ふ近衛公＝東亞經濟ブロックの中核的存在として滿洲國經濟界は新内閣に期待するところ極めて大きい、鐵、石炭、石油、米、大豆等々は勿論、資金爲替その他今の滿洲經濟は日本とは血よりも濃いつながりだ、近衛新内閣に期待される統制經濟の强化も支那事變の處理もすべて滿洲經濟にひびかないものはない、財界人は近衛公に何を期待するか、近衛公はどう觀るか、今財界各層にその聲を聽かう

△韓電業社長　獨伊兩國が今日の如き潑ラツたる元氣に充ちた强大なる國家となり得たのは確固不動の指導精神の下に國民を團結せしめたからであると信ずるが東亞の盟主たる日本が近衛公によつて新政治體制を確立し確固たる指導精神を中心に軍官民一致して新東亞建設の大業に邁進することは同時に東亞諸民族の嚮ふべき不動の針路を示すものとして吾々は深く同公の出馬に期待すると同時に一層の御奮鬪を祈つてやまない

△高橋新京商工公會副會長　明治四十五年一高を出るまで同級で過した關係で近衛公の手腕については深く自分も期待してゐる、特に近衛公のブレーンと見られる影の人物が總て大陸の研究に寧日なく、從つて東亞新秩序據點たる滿洲國の前進基地としての滿洲國に對する認識が文人としての域を脱して深いのは滿人層にも强く歡迎されてゐるところで再度の公の出馬に對して、は滿人方面の協力支持は絶大なものゝあることが感得される、かくの如く目下の滿洲國人が近衛公絶對支持を表明してゐる以上、公としても更に積極的に且つ迫力をもつてわれわれに呼びかけて來られることを待つてゐる

△向坊專管公社理事長　新内閣が出來ても急に大豆經濟に影響があらうとは思はないが、より統制の强化があらうからそれに從つて專管制度も却つてやり易くならうと思ふしアウタルキー强化により日滿間の大豆をめぐるいろいろな問題はどしどし解決するだらう重大時局に際會して弱腰や不一致は絶對に避けなければならぬ時であり新政治體制を目標に組織される第二次近衛内閣は蓋し首班として適任でせうし自分達としてはこれを機會として東亞アウタルキーを一層强化し日本の經濟的獨立權を確保し確り肚を据ゑて新體制確立を完うされんことを期待すると共に經濟統制が編成替への方向に進んで行くものといふことが出來ると思ふ

△小平興農合作社兼糧穀理事長　滿洲に對する認識を深めることが先づ第一の問題であり、未だこの點について缺くるところがありはしないかと思はれる、新内閣はこの點に最も注意を拂ひ認識を深めて貰ひたいと思ふいま日滿支を通ずる食糧政策は重大時期に當面してゐる、これは眞に日滿一體の下にやつて行かねばならぬもので、滿洲に對する認識を深めるといふことが先決問題で、現に當面してゐる飼料、肥料問題にしても日本からどしどし人を送つて貰はねば完遂は難かしい特設農場などにも勤勞奉仕隊として人を惜しみなく送つて貰ふことが肝腎である、東亞農業問題即ち食糧、飼料、土地等重要諸問題の解決は一にかゝつて滿洲への理解にあるのだからこの點に新内閣が努力するやう望んでゐる

△富田興銀總裁　最近日本の政情は近衛公が出馬しなければ安定困難と思はれてゐたからいよいよ大命が公に降下したことは日本の政界安定のために慶賀すべき事である、日本の政情の安定は又滿洲國經營の上からも政治的、經濟的に好い影響があらうから今後は滿洲國もこの安定した基礎の上に五ヶ年計畫その他の諸政策は押し進めて行けよう

△關中銀總裁　如何に内閣が更迭しても事變處理の國策は不動であるが歐洲情勢に對する新たなる構想し展開は必至と豫想されれ日滿の經濟關係もこれに伴つて從來の互助連環を一段と高度化されるに違ひない資金關係物資交流の問題等かゝる新經濟事情の下に當然一層の圓滑化に導かれるべきだと思ふ統制の强化は必至だが强化の方向は滿洲經濟の嚴たる存在を充分考慮に入れて行はるべきだ

△鮎川滿業總裁　近衛内閣出現に對して兎角の批評は差控へる、如何なる内閣が出來やうとわれわれにはわれわれの仕事がありわれわれは一意その遂行に當るのみである

△小川日滿商事理事長　公の出馬により新黨の樹立も早急に實現し一路擧國體制の確立へと發展するのではないかとひそかに期待してゐる次第だ、この際滿洲側として特に希望する點は新内閣首腦者が眞に滿洲に對する理解を深め對日期待品窮屈化の緩和を圖る等眞の意味の日滿經濟ブロックの確立を熱望して止まない

△廣瀨電々總裁　國家的見地から見れば戰時下における内閣の更迭は憂ふべき現象だが、强力なる新政治體制確立のための更迭なら寧ろ喜ぶべきことだと思ふ、その意味で近衛公への大命降下は誠に御同慶に堪へない、どうか國策遂行の新たなる政治勢力として高度國防國家の樹立、東亞新秩序の建設に邁進されんことを熱望してやまない

新穀出廻りを前に　蒐貨に萬全期す

滿洲穀粉管理會社は小麥出廻りを前にし小麥の蒐貨收買に完璧を期すると共に統制に萬全を期するため十七日午前十時より新京本社に於て全滿出張所長會議を開催、本社側より輿平理事長佐藤理事以下各部長、地方側哈爾濱、齊々哈爾、佳木斯、北安各出張所長出席し新穀出廻りを前にし、各事務打合を中心に左記事項につき懇談を遂げ午後四時半散會したが、今回業務擴張のため牡丹江、奉天の二出張所增設に伴ひ出張所管轄區域に多少の變更を見た

△打合事項
一、小麥部關係事務打合の件
一、康德七年度小麥蒐貨對策要綱の件
一、康德七年度小麥蒐貨對策案實施要領の件
イ、各出張所管轄區域
ロ、小麥收[illegible]打合の件
ハ、麻袋收[illegible]打合の件
一、穀粉部關[illegible]打合の件

尚蒐貨對策[illegible]では與農部その他關[illegible]と緊密なる連繋を圖[illegible]出廻り對策に會社機[illegible]味を發揮せしむるた[illegible]十八日午前十時より[illegible]會館に同社主催の[illegible]關係專賣總局、合[illegible]農部、機關と小麥蒐[illegible]心とする統制方策强化に關する懇談會を行ふこととなつた

貿易懇談議案に對し　滿洲側態度決定

來る廿六、七、八の三日間に亘り大阪に開催される東亞經濟懇談會主催日滿貿易懇談會に提出される議案については曩の日滿經濟懇談會において決定を見、爾來兩國とも關係機關が協議を進め各々の立場において表明すべき態度、意見、方策を研究中であつたが、滿洲國側では十六日日滿軍人會館において、關東軍、總務廳經濟部、興農部、滿鐵、特産專管、綿聯、生必、日滿商事、糧穀、商工公會、三井、三菱の各代表列席愼重に最後的檢討を行つた結果深更に至り漸く左の如く各議案に對する態度を決定するに至つた

一、日滿貿易物資物價統制に關する件
日本側輸出物資の現狀を見るに原則として九・一八停止價格の適用あるにも拘らず何れもその範圍を逸脱せるものゝ如し、而して日本輸出物資を日本公定價格に依據せしむること困難なる諸事情の因をなせるは
（イ）輸出手數量檢査料
（ロ）輸出クオーター料
（ハ）闇取引
（ニ）北支輸出價格
等なるにつきこれ等に對する對策の講ぜられることを要望す

二、日滿間輸送問題に關する件
日滿間の輸送問題は物資の確保と物價とに重大なる影響を有し海陸運輸機關に對する日本海運統制委員會等の採用する方策に關聯して特に
（イ）船腹の確保
（ロ）船運賃の規制
を喫緊とし、反面に
（ハ）荷作り、荷拔等に對する方策の如何により物資の破損損失を防止すること及び當局において荷役に對する一層嚴重なる荷造方法により拔荷を防止するに非ざればこれが損失補塡のため自然價格の昂騰を來し消費者の負擔を加重するに至り、延いては物資確保難を一層增大するものと認められ、兩者相俟つて物價問題の確決を困難ならしむるものと認めらる

三、對滿輸出品の數量確保の件
（一）對滿輸出品の數量確保は物動、準物動の計畫により大體の數量は確保せられるもこれが計畫に照應し
（イ）輸出物資原料材、副材料の供給を圖ること
（ロ）滿洲割當は北支割當とを嚴重に區分する（關東州經由北支輸出は北支割當中に含ましむる方法を採用する）
（二）七・七物資その他ゼイ澤品、高價品の輸出禁止
（三）第三國偏重主義の是正

四、滿洲特産物對日供給確保の件
對日輸出物資の價格は日本の物價水準に照し定められたる統制價格によること
但し日本において保障その他人爲的方法により低位に定めたる統制價格あるものはその價格に據り難きにつき日本側においても適當の措置を講ずるものとす、滿洲側の第三國輸出は必要の最少限に止むる如くすること

五、日滿間貿易配給統制機構の改善の件
同問題は地區別輸出組合と物品別輸出組合との二段制なるも物動及び準物動物資に關しては物品別輸出組合に統一し各組合内に對滿輸出部を設置し日滿間の貿易を圓滑化すること、これが目的達成の方法として滿洲側輸出機構は大體左の如く整備せんとす
（イ）生必獨占取扱ひしもの
（ロ）輸入聯盟によるもの
（ハ）輸入又は統制組合によるもの
（ニ）その他
なほ關東州貿易輸出業組合聯合會との調整を圖り機構改善の目的を達せんとす

六、對滿圓資金制限に關する件
日本側の圓資金制限はやむを得ざる措置なりと諒解し滿洲側は不要不急品輸入の抑制、不急不要事業の抑制、事業經營の合理化につき此の際全力を致すべくも元來生育途上の滿洲は貿易輸出超過額の補充は日本の對滿投資に俟たざるべからず、對滿投資の一元的なる極端な緊縮は日滿貿易の萎縮、滿洲計畫事業の頓挫を來し日滿經濟上由々しき問題にして相互貿易業者の蒙る不測の打擊あるにつき深甚なる考慮を拂はれたし

一、通關制度の改善に關する件
發地通關の制度は七月一日より實施せられをるも更に特定地域における特定荷受人に對しては滿洲國に代り通關豫備行爲をも營み以て日滿單一通關制度を實施せられたし

新京六月の生計費　資金統制で稍鈍化

中銀調査＝新京生計費指數は四月末一般物價高强調の底流を映して五分乃至六分方の相當大幅な騰勢を持續してゐたが、六月に入り農繁期を控へた手許資金需要の增加と政府の金融引締政策に制約され騰勢稍鈍化し總平均指數は二二二・一九と對前月比一・六四%、對前年同月比四二・一五%と夫々騰貴したが、これを事變前康德四年六月に對比すれば實に十一割三分の高位に當つてゐる、即ち本年一月以降の新京生計費指數推移は左の通り（△印下落）

	六月指數	騰貴率%
一月	一八四・五四	〇・三三
二月	一八八・八七	二・三五
三月	一九四・九一	三・二〇
四月	二〇五・四八	五・四三
五月	二一八・六一	六・三九
六月	二二二・一九	一・六四

更に六月生計費指數内容を費目別についてみるに指數昂騰の主流をなし對前月比五・七〇%を示した被服費は雜下及靴類その他統制外商品の騰貴を織り込み、光熱費は十九日の炭價大幅値上げにより被服費についで對前月比二・二〇%高、住居費は洗面器の暴騰により同じく一・二九%高、雜費は白粉及び交際費の上昇石鹸、ポマードの微落を打消して同じく〇・一三%高、飲食料品費は高粱米、麥粉その他嗜好品の保合の外蔬菜、魚介類の季節的下落にも拘らず白米、粟、包米粉羊肉、牛肉、鷄卵、乾菜、酒類等の昂騰により結局前月比〇・二九%高と構成類別指數は軒並に騰貴を示してゐる、即ちその對前月比對事變前比騰貴率夫々左の如し

		對前月比騰落%	對事變前比騰落%
飲食品費	二二九・八〇	〇・二九	一二二・一四
被服費	二三七・二一	五・七〇	一三四・八六
光熱費	一六八・一九	二・二〇	六七・〇四
住居費	一七〇・七二	一・二九	六七・四一
雜費	一八六・六九	〇・一三	七六・四八
總指數	二二二・一九	一・六四	一一〇・一三

中銀帳尻

十六日の中銀帳尻左の如し（單位千圓）

紙幣	六一二、六〇一
鑄貨	三七、七二八
預金	二九四、九九〇
貸出	九六四、六九〇

農研幹事會

來る二十二日より開催の日滿農政研究會第二回總會の下打合せを行ふ日滿農研共同幹事會は十八日午前十時より軍人會館に於て開催、滿洲側小平副會長以下石坂常任幹事ほか各幹事、日本側幹事農林省和田調整課長近藤統計課長等各幹事出席總會に附議すべき議案その他總會手續等に關する協議を遂げた

錦州の豚毛　二十萬斤在荷

經濟部では四月以降密輸防止、對第三國輸出貿易伸張の目的で錦州省内に於ける豚毛の搬出を禁止し、これが在荷調査の結果二十萬斤に上ることが判明したのでこれを第三國向け輸出する事に決し、目下係官立會の上滿洲豚毛會社、三井三菱等をして入札によつて收買せしめてゐる、在荷品中には斤當り四十圓位のものもあるが、十錢、二十錢のものも混入してゐるので平均十圓位と見積つても全額約二百萬圓の輸出を見得る譯である

佛領印度支那　華僑の勢力（下）

△佛印華僑の經濟勢力　佛國が佛印を領有（一九〇五年）當時の華僑の經濟投資額は概算既に九千七百萬法に達して居り、農業資本は商業資本に比し割合は少く而も商業資本は佛國投資額をさへ凌駕してゐる、即ち農業資本一九、六七七千法中佛國が一三、二〇二千法で華僑は六、四七五法である商業資本合計一〇七、八二九千法中佛國が四一、四一八千法であり、華僑資本は實に六六、四二〇千法に及んでゐた、換言すれば佛印の華僑の發展は早くより商業中心をなしてゐたことが判る、而して現在に於ける華僑商業資本の狀態如何といふに

△貿易業＝輸出貿易の大宗はいふまでもなく米であつて米の輸出は商品輸出額の六七割を占め而もその米は華僑の勢力に握られてゐるのである、その輸出米の行先は香港、支那、蘭印等でありいづれも各地支那人の有力取扱商と連絡の下に行はれてゐる、一九三五年西貢米の輸出の六割以上は彼等の手を經てゐる輸入貿易に於ても香港海峽、植民地等の華僑商人を經由して來る商品を主として取扱ひ少くとも年五六千比佛の取引高を有し我が佛印向け商品の六割も彼等の手に委ねられてゐる、これら華僑貿易業の商品額を見ると一ヶ年大體二十億法以上に上つてゐる

△物品販賣業（仲介商人）＝華僑の仲介勢力は極めて大で小は行商人より大は大問屋に至る迄殆んど獨占してゐる、彼等は佛印の至る所で輸入品乃至諸工業生産品を直接土民に販賣すると同時に米以外の土民生産物を買ひ集めて之を歐洲乃至自國輸出に取次いでゐる、それらの從業者の數は恐らく佛印華僑の八割を占めてゐるとさへ云はれる

△金融業＝華僑系の銀行は富テン銀行、東亞銀行の二行あるが殆ど云ふに足らず華僑間に於ての信用は矢張りフランス、イギリス系銀行におかれてゐる、銀行業以外には注意すべきものは金貸業である、彼等の貸付方法は無擔保の場合は連帶責任者を以て、擔保付の場合は農民に對して農作物の收穫を引當てその貸金を相當物品に依て回收する方法を採つてゐる利率は月三分乃至四分の高率で搾取して居る而も之らは如何なる僻地にも在存する爲に細民達は此に頼るものが多い

△土地所有＝華僑の土地所有は交趾支那、安南、河内海防、ワーラヌブノペン市等に於て相當面積に達して居る、現在華僑の土地所有數は六萬二千ヘクタールでありその中四萬六千ヘクタールは交趾支那に在る、土地評價額は交趾支那だけでも二千二百萬比弗、現在は大體その二倍の價値を有して居る

△交通業＝交趾支那の河水運輸は殆ど華僑の手に歸してゐるそれは重要運輸機關たる無數の戎克は悉く彼等の所有にかゝるからである以上佛印に於ける華僑の經濟勢力を概觀したが然無し限の擴大を豫測されてゐた華僑勢力も佛國の華僑に對する政策の變化、土民の覺醒、佛國資本の進出、華僑の機械文明無視の理由により近年漸く衰退の徴候を示すに至つて來たのは注目すべき現象である

華僑の本國への送金は年八百萬乃至九百萬に達して居り彼等は祖國の生産業に莫大な投資をなして居る、又國府發行にかゝる公債の買入に大きな一役を買つて居り其の他社會教育に惜げもなく巨資を無償で提供してゐる、一九三五年の支那側の報道によれば安南に於ける華僑の送金は三百萬元に達して居ると云はれる華僑の本國への投資は上海を中心とする各種事業で一九三〇年の調査によれば工場、公司、商號、銀行等二百五十種に上り大體三百萬元近く投資されて居り特に郷里たる廣東福建省に於ては潮仙鐵道への投資がその最大なものとされてゐる事變當初に於ける白熱的援蔣行爲も歐洲戰爭の急轉とそれに伴ふ英佛勢力の東洋に於ける沈滯と佛印の援蔣行爲停止、重慶政權内に合理的和平論の勃興、新政府の新興政治力の强化並に我が軍事行動か佛印國境に伸びた事實によつて、蔣介石側のデマ宣傳の實相が判明する事によつて援蔣送金の和平送金と變る日もさまで遠くあるまい事が豫想される

つひに近衛公の再登場となつた全國民の待望の中に公のいはゆる構想が大きくクローズ・アップされてゐる▼出來上るものは確かに强力内閣であらう内外の情勢がそれを要求してゐるのである、内には新政治體制の編成、外には聖戰の遂行と諸國への對處である▼外相は松岡氏に決したといふ、洋右氏今や何をなさうとするか、廣舌の底に無論ここにも構想はあらう、その構想をいかにして現實化して行くか、ひとへにその腕に懸つてゐる▼公を思うてゴルフを思ひ松岡氏を思うてパイプを思ふ、非常時下とはいへこの餘裕あることは心强いとして良いであらう

商況　十六日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）

	寄付	大引
五品	二九三	二九四
大新	六七四	六七三
新東	一三三七	一三三七
滿業	六八二	六八一
鐘紡	一五五九	一五六四
同新	九六一	九六四
滿鐵	七六八	—
土木	—	—
豆新	—	—

●奉天株式（短期）

	寄付	大引
新東	一三三〇	一三三一
滿業	六七七	六七八
大新	—	—
鐘紡	—	—
同新	九六〇	九六二
滿鐵	七四一	七四九

手形交換高（十八日）

九七六　三、一〇九、四三三圓

新版岩見重太郎

ざまア見ろッてんだ！

佐久間晃

SAKUMA 2600-7

─國展搬入異聞─

ペンキ屋さんつい商賣氣が出ちやいましたんで

梅林秀麿

─水飢饉─

醉つて歸つたトタンに斷水になりました！

佐久間晃

漫畫募集

取材法……題材は自由なるも成るべく市民の新聞としての內容を持つもの（繪を描けない方は案のみにても可）

用紙、用材……ケント紙若しくは畫用紙に墨一色を使用のこと、アミ目指定は藍色をウッスラ塗ること

締切……毎週日曜日

宛名……本社編輯局漫畫係　紙上發表の分には薄謝を呈す

漫畫界ニュース

▼滿洲漫畫家聯盟では近く總會を開催する由

▼在京有志の漫畫家によつて漫畫界一般のニュース並に研究記事を揭載する機關紙を發行することになつてゐる

▼漫畫家中に國展出品をなすもの多し、意氣や旺ん

新日漫画プール

高田よしを　佐久間晃　合作

國策藝者

つぶし島田になごりを殘せど●お座敷着はスフの筒ッぽ、もんぺの袴、三味線のかはりにラッパを吹いて、持參の七分搗のにぎりめしで水を飲む！

梅林秀麿

防空下の街に拾ふ

▲……歩道にて

『出たよ、出たんだよ』

『何を云つてるんだよ、何も出やしないぢやないか…アハッハッハッ、なーんだ電柱ぢやないか、おどかすんぢやないよ』

『あ、さうか、ヤレ〳〵たまげたよ、昔はよく辻斬りが出たつていふけど電燈がなくてこんなに暗いんぢやなるほど出るね、イヤ全くかく申す拙者なども、ちよいとやつて見たくなるからね』

▲……カフェーにて

『イラッシャイマセ〳〵御シンキ花子さアーん』

『オイ、ちよいと待つて吳れ、おどろいたね、この滿員ぶりはどうだい、凡そ凄いね』

『あのすみませんがテーブルがないんですが……』

『ナニッ、テーブルがないッ！テーブル吳れッテ誰が云つたコラッ…』

『いやあのお坐りになる席が御座いませんので…』

▲……おでん屋にて

『アッ非常管制だよ、アレッ消えちやつたまッ暗だよー』

『ずゐ分暗いね、ナニ、今のうちにおでんを？馬鹿ヒッパたかれるぜ……』

『あッ點いた隨分長かつたね、おやッ隣りの大將居なへなつちやつたぜ、さつきのほら隣に居つた大將よ…エなに居る、アレッ大將入口に立つてるよ、オヤ〳〵上着をかゝへて歸支度は御念が入つてらア』

ーモシ〳〵お歸りでした、ら御勘定ねがひます、ドーゾ！カチン！

ヱと文　高田よしを

こんな御婦人がふえました

ビールをお飲みになることも、スカートを短くなさることもオッパイの存在を强調遊ばすことも……決して惡いとは申しません……ぢやがネものには程度といふものが御座んすからネ……

高田よしを

暑さの逆法療……（三）……

アメリカのレヴユーの中にはなかなか猛烈な奴があつて衣裳をだんだんはいで行き、最後のものをはいだその瞬間パツと暗轉になると言つた樣な際どい奴があると言ふ、このカツトはもちろんそんなたぐひのものとは違つたれつきとしたものであるが體の線と言ふ線が實に生き生きと躍つてゐる、斯うなれば本當に體そのものが一個の藝術品である、肉體美とはいみじくも名づけたものである、ポーズをとつてゐるのはブロードウエイ・ミユウジカル・プロダクシヨンのエドナ・マエ・ペイン孃

『泳がない水泳！　演員さん颯爽と水邊に立つ』

×…大分お暑くなりましたので滿映の演員さんもたまりきれず水浴びに出かけま…×

×…した、滅多に（中には生れてから一度も）水浴びをしたことのない彼女達、…×

×…滿映の女演員さんたちの中で水泳の心得のあるのは趙書琴ひとりと言ふなさけ…×

×…なさ、李明も李香蘭も季燕芬も泳ぎは出來ないのです、その彼女たちが水泳に…×

×…出かけたのですから、ことが面白くならない譯はありません、樂しい水浴風景…×

×…の中からエピソードを二つ三つ拾ひ集めて見ることにいたしませう…………×

スフは哀し！　水着は溶ける

アタシ泳ぐのやアーめタ

浮輪片手にまかり出でましたるは右より、鄭曉君、趙書琴、馬黛娟（ミス・新京）、葉苓の四嬢、右より二番目のノツポ嬢が泳げるだけ、とこころでまさかオリムピツク大會がある譯でもないのに五輪の浮輪を抱へた所は一體何んのまじなひでせう、良く御勘定遊ばせ女四人に浮輪五つ、ところで此の演員さん達一向水に入らぬから不思議です、近寄つたら何んとか言つてゐました

「ね、水つて冷たくないかしら」

「少くとも溫くはないわね」

「ぢや思ひ切つて入りませう」

一寸、二寸、三寸、水の冷めたさに彼女達思はず知らずおつぱいをぎゆつと抱きしめました、軈て膝の上三寸、四寸、五寸近く……すいすいと白いむつちりした腿をトンネルにして水がくすぐつたく流れて行きました、いたずら好きのお魚がちよろつとのぞき見して素早く逃げて行きましたおゝその瞬間鄭曉君が言ひました

「あたしやつぱりいやだワ折角の水着を濡らすのいやヨ」

「だつて水着は濡らすものヨ」

「若しヨ、萬一だワ泳いでゐる中に溶けてしまつたらあたしどうしませう」

あゝスフは哀し、麗人達は遂にその肌を水に濡らさざりき（但しあとで解つたところによると水着はスフではなかつた由）

噂の李香蘭!!　突如、松竹の舞臺へ

＝あつけにとられた東寶側＝

噂の李香蘭は今度は以外にも全く豫想を裏切つて松竹よりの懇望を受け八月の松竹の大舞臺に出演と決定、松竹側の電擊作戰に東寶側でもあつけに取られた形である、之は東寶が製作を發表した「北京の娘」の撮影に先立つて行はれるもので

松竹側では滿映との提携作「黎明曙光」內地封切を前に「黎明曙光」劇化を計畫之を機に李香蘭を舞臺に異立たせ夏枯れの演藝界に異色を誇りつゝ興行的なヒツトを狙つたもので李香蘭を迎へる一座には目下の處新派の井上正夫一座若しくは水谷八重子一座が豫定されてゐる模樣である、此の計畫のために松竹側では水も洩らさぬ周到な陣を張り折柄東京滯在中であつたキネマ旬報新京支社長鈴木重三郎氏は松竹側の秘命をおびて歸京、滿映側と折衝して去る十五日慌しく再び東上して行つたもので日ならずして松竹社長大谷竹次郎氏より滿映宛「御貴意に副ふ樣萬全の準備を進めてゐる、李香蘭を貸して異れて有難う」と言ふ意味の電報あり滿映側でも決定にいたるまで一切口を緘してゐると言ふ用意ぶりであつた、尙李香蘭の出演する舞臺は「歌舞伎座」もしくはその他の大劇場が豫定されてゐる

ラヂオ　けふの番組

あさ

六、〇〇（新京）建國體操

六、一八（大連）入港船のお知らせ

六、二〇（東京）ニユース

六、三〇（新京）建國體操

六、五九（東京）時報（新京）天氣豫報

七、〇一（東京）朝の修養「高僧の語錄」（五）守屋貫敎

七、二〇（新京）朝の音樂（レコード）〃交響管絃樂〃交響曲「ハフナー」ニ長調（モーツアルト作曲）第一樂章アレグロ・コン・スピリツト 第二樂章アンダンテ 第三樂章メヌエツト 第四樂章フイナーレ（プレスト）ニユーヨークフイルハーモニツク管絃樂團（指揮）トスカニーニ

八、〇〇（新京）建國體操

八、二〇（新京）氣象通報

九、〇五（東京）經濟市況

九、三〇（東、奉）經濟市況

九、五〇（大連）幼兒の時間 オハナシ「カクレンボ」鈴木喜美子

一〇、五〇、奉天）家庭メモ

一〇、一〇、奉天）料理獻立

一〇、二〇（大連）家庭の時間「外米の炊き方」柏木秀子

一〇、四〇（新京）食料品値段

ひる

一一、三五、奉天）經濟市況

一一、四〇（東京）經濟市況

一一、五九（東京）時報

〇、〇一（奉天）經濟市況

〇、〇五（名古屋）平家琵琶「那須與市」佐藤正和

〇、三〇（東、新、ニユース

一、〇五（東京）經濟市況

一、五〇（奉天）經濟市況

二、五五（新京）氣象通報

三、〇〇（東京）婦人の時間 母の爲の理科講座（三）「小學六年生並に卒業生の指導法」栗山重

三、二〇（東京）經濟市況

四、〇〇（東、新）ニユース

四、三〇（奉天）經濟市況

五、三〇（奉天）東京大相撲滿洲場所實況三日目＝奉天萩町相撲場より中繼（相撲無き場合）

六、〇〇（東京）子供の時間 子供音樂講座（七）「樂譜の讀み方」弘田龍太郎（合唱）日本放送合唱團

六、二〇（東京）コドモの新聞

六、二五（京都）趣味講演「近世日支國交の經」文學博士 矢野仁一

よる

六、五〇（新京）國民メモ

六、五五（新京）カレントトピツクス

七、〇〇（東、新）ニユース（新京）告知事項、今晩の番組

七、三〇（大阪）國民歌謠 一、白百合 西條八十（作詞）大中寅二（作曲）二、太平洋行進曲 海軍省選定（獨唱）德末義子（合唱）ＪＯＢＫ唱歌隊男聲部（伴奏）大阪ラヂオオーケストラ（指揮）福喜多鎭雄

七、四〇（抗州）中支より吹奏樂と齊唱

八、〇〇（東京）ピアノ獨奏「奏鳴曲」ニ長調 作品一〇ノ三（ベートーヴエン作曲）第一樂章プレスト 第二樂章ラルゴー、エ、メスト 第三樂章メヌエツト 第四樂章ロンドアレグロ 朝吹英子

八、三〇（大阪）音の涼味（解說）國部三郎

八、四〇（東京）浪花節（錄音）「軍國險の母」中田比良夫作 梅原秀夫

九、一〇（東京）時事解說

九、三九（東京）時報、ニユース、ニユース解說（新京）ニユース、氣象通報、告知事項、明日の番組

一〇、三〇（新京）今日のニユース

一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

〃女に冷えは大敵ヨ〃　〃裸のイヴは幸福ネ〃

ヒヤヒヤ！ヒヤヒヤ！

水になんかつかつたら冷えてしまふワヨ、あたし達女には冷えは大敵、生理的にはなはだいけないワヨ：と演員達泳げないものだから妙なところに理窟をつけて砂濱で甲羅ぼし、之ならば太陽の熱を吸收した砂でお腹をあたゝめ上からは强烈な紫外線を浴び生理的には本當に申し分なささう

「良い氣持ね」と誰かが言ふ

「本當にネ、たまに裸になるとのびのびするワ」

「もともと裸で生まれて來たんですものネ」

さうヨ自然に歸れだワ」

「と言ふと夏がやつぱり一番良い譯？」

「ぢや着物つて誰が一番最初着出したの？」

「馬鹿ね、知らないの禁斷の實を食つたイヴさんぢやないの」

「へえ、着物つてどんなものだつたの？」

「リンゴの葉つぱを前にあてがつたのヨ、それまで着物きる必要がなくて男も女も眞つ裸ヨ」

「ドイツあたりぢや男も女も素つ裸になつて體操するところがあるさうぢやないの」

「眞つ裸のときと着物をき出してからどちらが良いでせう？」

「そりやもち、イヴ以後ヨ」

「どうして？」

「だつていくら裸が良いたつて、禁斷の木の實が食へなくちや女と生れた甲斐がなし、裸になつても意味がなし」

「ヒヤヒヤ」

女三人よれば姦しとやら八人も寄つたらさぞかし、こんなことをしやべりをるならんと言ふ話

水邊で夢物語り

お惚け言つたり泣かせたり　遠く波頭が笑つてる

砂濱で女二人がからみ合つてゐる、さても見ごとな肉體美、左が鄭曉君、右が馬黛娟

「馬さん何をにや〳〵思ひ出し笑をしてゐるのヨ、彼氏のこと？」

「もちろん、あんたなかなか頭が良いワヨ、褒めて上げる」

「言つたなこいつ、くすぐつてやるから、クチユクチユクチユクチユ」

「ワアイ、馬鹿、感じを出させちやいけないつたら、ヤアーン、助けて」

「白狀しなさい、相手はどんな人？のつぽ、でぶ、少年？青年？年より？はげちやん？さア　どつちだつたら」

「氣を廻さないでヨ、昨夜の夢の中に出て來た人よ、やさしくつて、スマートで思ひやりがあつて、賴もしくつて」

「それで　あなた　どうしたの」

「その人あたしの目をぢつと見つめ乍ら言つたワ、僕は貴女を愛しますつて」

「それから？」

「それからあたしの手をにぎつてぐつと引きよせ樣としたのヨ、あたしもうぼうつとなつちやつて何もかも解らなくなつちやつたワ」

「ぢや許してあげるからあたしの言ふことをきく？」

「えゝ、何んでも」

「まアまアあなたつて人は何んて人なの、あたし見損つたワ、穢はしいからもう二度と口をきかないで頂戴絕交するワ」

「ひがんぢやいやヨ、だから夢だつて言つてゐるぢやないの」

「夢だつてあんまりだワヨあたしの隣りで良く厚かましくそんなことをやれたワネ」

「怒つちやいや、許してネ」

「知らない」

「困つたワ、どうしたら良いんでせう、シクシクシクシク」

「ネエボソボソボソボソ」

「あら、やアだ、どうしたらさう言ふ夢が見られるかつて？」

「大つきな聲を出しちやいけないつたら……」

「それはね、斯う言ふまじなひをするのヨ、クチヤクチヤクチヤクチヤクチヤ」

さてこのまじなひは何んでありませう？水邊、女二人の白日夢、あとは知らない二人は若い……

珍らしや千惠藏

洋服姿で銀幕へ

日活京都のお盆映畫〃續淸水港〃には浪曲ありレヴユウありヴラアエテイに富んだ興味篇でこれには千惠藏が石松と舞臺監督の二役に扮してゐるが千惠藏が洋服姿で劇中の銀幕に現はれるのはこれが最初だらうと非常に珍らしがられてゐる

二萬圓の劇中劇

文樂座五日間出演

松竹特作プロ第一回作溝口健二監督〃浪花女〃は京都太秦スタヂオに於て撮影中であるが劇中劇の文樂には大阪文樂座全員を五日間に亘つて買占め、太秦のステヂーに組んだ大セツトで撮影と決定、この費用のみで二萬圓といはれてゐる

警視廳首腦部　撮影所へ乘込む

時局認識、自肅自戒に

內務省が七・七の三周年記念日を期して、映畫の內容肅正と質的向上を圖るため映畫檢閱の强化を實施したので、斯界から重視されてゐる折柄、今度は警視廳が直接各撮影所に自戒自肅を要望するに至つた、それは重村保安課長、津濱興行係長、村上警部の三氏が十一日午後松竹大船撮影所に乘込み撮影所幹部と會見、時局下特に全所員の自戒自肅を要望すると同時に、製作首腦部に於ては映畫法の趣旨を理解し、違反なきやう警告の後、所內の仕事振りを見學したもので、本廳關係首腦部が直接撮影所に乘込んで、所員の自肅を要望したのはこれが最初であるが、警視廳では今後隨時各撮影所へ赴き、映畫製作關係者の時局認識と自肅自戒に努めると

女の映寫技士　六名が合格

本年度上半期に於ける警視廳映寫技士試驗の結果、甲種合格の女子は左の六名

戶井原かね（一九）中山郁子（二二）神田キヨ（二二）杉本竹子（二四）渡邊はな（二四）喜多山マサオ（三五）

平家琵琶　那須與市

後〇・〇五……佐藤正和

琵琶は何れの時何れの國に始つたかについては完全な記錄がないが、地神盲僧の傳說によれば印度に於て最初に琵琶を彈じた人は妙音天で、妙音天より琵琶の傳授をうけた人は釋迦の弟子たる盲者嚴窟尊者であつて尊者は琵琶を用ひて國土安穩の祈禱をなし始めた、釋迦在世中にも此の琵琶を用ひて法を說かれてゐたものと見え、曾てこれを用ひて圓覺經を說かれた時その歸依者の勸告により三絃のものを四絃にした

琵琶が日本に渡來したのは仁明天皇の御代で小野篁等の遣唐使に隨行した藤原貞敏が奧儀を極めて歸朝したに始まる、貞敏以來殿上人に愛せられ雅樂に取入られたが平氏の時代に入るや一門の公達擧つて風流の道に親しむ樣になり琵琶も又大いに行はれた、平家沒落後も琵琶は尙命脈を保ち、平家物語が出ると共に鎌倉時代室町時代にかけて平家物語に取材する平家琵琶が流行したが、此の時代には琵琶は盲人の職業となり琵琶法師と言はれた

その後打つゞく亂世の爲に琵琶法師も四散し雅樂琵琶は宮中府中の伶人によつてまた平家琵琶は依然として法師によつて奏し傳へられる樣になつたが、社會との接觸を失ひ自滅にひんしてゐるに反し一方流離した法師達によつて邊土に殘された琵琶が現在薩摩琵琶並に筑前琵琶として殘り、漸次勢を得て流行を見てゐるのである、江戶時代以後は盲人は箏、地唄等時代の要求するものに走つたがやはり平家琵琶は盲人の本藝として修める習慣があつたので三つの藝をかねるものが多かつた、本日の佐藤氏は箏三絃もよくせられる出し物那須與市は扇の的で有名すぎる弓の名手物語である

都住の記 (一)

渡邊洪一郎

歸りは氣持の上に餘裕があつた。

旅慣れた所爲もあり時に晝の連絡船を選んだ事が何か珍らしく樂しい感じだつたがそれも初めのうちで雖てはもう今度は當分歸國出來まいと思ふわびしさを持つて屢々甲板の日照りに立つた。白波は―初夏の朝鮮海峽を押切る連絡船の側面に騷ぎ立つ白波は、進行する自分の眼の錯覺から、船尾に集つては海の上を白々と遠く日本へ向つて押流れ突進むやうに見えてゐる。そして自分の思ひも單純な思郷のかけらとなつてその上を渡つていく。

僅か二週間足らずの滯在だつたが東京は恐ろしい日照りに惱まされてゐた。水道は一日に二回、時間を限つての配水に、何を容器とするものかその時間には各戸一齊に水が貯へられるのであつた。そしてそれが飲料水となり、食器を洗ふ用水となるのであるから用を足して手を洗ふなどと申す事はゼイ澤の域に近かつたのである。丸ビル界隈、東京驛、朝日新聞社等は流石に自家用の掘井戸があつて其の不潔な不便さからは免れたが、飲めません、と書いた札から愈よ國家非常時の感を强められたりした。

手は淨められずとも白粉の解き水だけは事缺かさぬ女人の一群が游泳する銀座へ出る。日本橋に勤めのあつた自分だつたが、ついぞ銀座へ出る事もなかつたので、久しぶりの散步であつた。いつか生長した並木の柳も、逸早く深々と下した店頭の日覆に蔭を寫して細かい綠を垂らしてゐる。この柳は再度の植樹で、その最初の時の舖道は、北原白秋の『桐の花』模樣の古風な赤煉瓦であつたのを人は憶えて居ようか。それらはカフエーライオンや十一屋や、版畫店、絹剌店などの昔懷しい店々と共に、いつか時代の風に吹き拂はれて影を潛めて了つた。知らぬ間に老舖の紺暖簾がネオンサインと置換へられ、知らぬ間に大阪から進出した大カフエーが物好き相手のゲテ物店となり、ニユース映畫劇場と替つて若い勤人同士の會合場所となつたりした。

新橋へ出る散步者は、渡邊版畫店の前を過ぎてから、遠道でも太田屋へ向ふ橋の、反對岸の大きなカフエーを右へ折れるがいゝ。其處には川沿ひに、電柱さへ邪魔に思はなければ、幾年の風水に起伏多くなつた赤煉瓦のプロムナードの僅かな匂ひを樂しむ事が出來やう。今でも變りあるまいが、銀座の舖道を日に一度は步かねばその夜の寢つきが惡いといふ人々の中に、以前山崎と稱ぶいくらか惡い青年の居たのを知つてゐようか。それは銀座マン中の最高權威者で、エスキモーの卓子に、千疋屋の飾窓に、唯々彼を識る事だけで其處の散步者に誇に似たものを感ぜしめたのだつたが今はどうしてゐるのであらうか彼も今では枯槁に近い體を床の前の机に跪坐せしめて獨り奥の細道か梁塵秘抄か何かを繙いてでもゐるであらうか。それとも又軍需會社の何々課長とも榮進してその課員を伴つては昔戀しい銀座の酒場に事務の疲勞を犒つてでもゐるであらうか。

學藝

幼兒の世界 (二)

藤井美津男

前回に於て、私は、幼兒の世界は淸淨な世界であると書いた。邪心のない世界であると記した。夢の世界であり、お伽の世界であるとも述べた。それで今日は二三見聞したことを書きつらねて見ようと思ふ。

×

チコちやんは七ツの春から幼稚園にあがつた。四月の來るのをお正月から待ちこがれてゐたので、チコちやんは每日元氣に通學したが、その中にお辨當を持つて行くやうになつた。……ところが、ある日のこと、幼稚園から歸ると、台所の流し端に行つて辨當箱をガチヤ〳〵させてゐるので、不審に思つて母親が行つて見ると、空になつた辨當箱が水を張つた洗ひ桶の中に入れてあつた。

「まあ、チコちやん、いつたいどうしたの。お辨當もきれいに食べてあるし…」

「……でも、先生のお言ひつけだもの」

先生の一言はチコちやんにとつて至上命令に外ならなかつた。チコちやんはかうして一つのよい習慣を持つやうになつたのである。

×

これは最近聞いた話で、兒童心理に關する興味深い事例と思つてゐるものである。

某大會社の社員A氏は、數年に亘る海外生活の間に二兒を儲けられたのであるが、その一人Bはベルリンで生まれ、他の一人Cはロンドンで生まれたのであつた。固より日本精神の把握者であるA氏夫妻の愛情籠つた翼の下でスク〳〵と育つたのであるが、今次の歐洲大戰が始まるや、その影響は日本のA氏の家庭にまで及んだのであつた。英獨兩軍の消長は忽ちBC兩君の生活に影響した。英軍の優勢が傳へらるゝやC君の意氣昻り、獨軍の勝利が報ぜられるとB君の元氣加はると云ふ有樣であつた。何れに加擔せよとも敎へられたことが無い筈の兩君のこの情況は、滿洲に家庭を持ち子を持つ私等としても、考へなければならないことである。

×

これは某滿鐵社員の打明け話である。

特急アジアが漸く出來た頃、何かの用事で大連へ行つた某君夫妻は歸路アジアに初乘することにした。その年の十月に白バスが貰へるやうになつた某君夫妻は臍の緒切つて以來始めて展望車に乘つたのであるが、外に乘客もなく頗るノンビリした且聊か得意な氣持でゐたところ、特別室から出て來られたのが、時の滿鐵總裁であつた。某君は早速最敬禮に及んだが、一向暢氣なのは同伴の一粒種茶目雄召である。總裁の前へ行つて擧手の禮をしてゐるのだが、いつまで經つても總裁が氣づかないので、到頭總裁の膝を可愛い丶指で突いて再び擧手の禮をした。……

「あんな冷汗をかいたことは無かつたよ」

某君はかう私に語つたのである。

×

幼兒の世界はかくも純眞そのものである。この純眞な世界を毀損せずに育てると云ふことは、恐らく至難に違ひない。然しそれは親たる者に課せられた重大な責務であり、次代國民を預る者の重大な使命である。私の力の足りないこと及ばないことは、毎日のやうに悔いてゐる。だが、私は敢て叫びたい。

「幼兒の世界を護れ」

夏蜜柑

小柳孝男

新京では、夏蜜柑一個が大抵二十五錢から三十錢もするが、この頃のものゝ値段と云ふものをかう考へてゐると、何だか少し恐い氣がする、何ぼう何でも夏蜜柑一個が三十錢もし、大根一本が四五十錢もするといふ、今時の生活のことを思つてみると、何かそこに國民の經濟生活の根本のものに、否が應でも目を向けねばならなくなるのは當然である。しかし今は、さう言ふ原因を捕へていくらあれこれと責め立てゝみても追ひつかぬので、問題はどんな覺悟を以て、お互ひが目をつぶつて暫く續くであらうこの峠を乘り越えるかの一事にある筈だ。生活は逼迫し、前途の暗澹としてゐるのに拘らず、カフエー、料理屋の景氣は底が知れぬといふ。そこでは夏蜜柑一個が、まだまだ高物價を呼ぶのである。サラリーマンが大部分である、この新京の生活層に漲つてゐる、所謂さうして生活意識に向つて今更言つても追ひつかぬ氣がするが、人の爲ではないのだ、皆んなお互の爲だ、といふ自覺に立つて、もすこし反省をとり戾さねば、前途は甚だ寒い氣がする。

奈良飛鳥展

津田八重子

心凝り大き藝術に居對ひてほとほと我は下心なげきゐつ

遠き世の聖の御筆あふぎつゝ心世代を馳せて目はとづ

飛鳥世のらうたき貴女がつやめきてかざせばゆゝる手鏡の尾の

遙かなる藝術尊し汗あえて玉蟲厨子の繪には見入りつ

遠き世の藝術を厨子に凝り立てば時折光る玉蟲の色

驕奢なる世紀幾世のたくみさを今のうつつに夢と見入りつ

―眞人、滿洲歌人同人―

私小說の現實性 (一)

坂野透

先づ第一に、リアリズムの精神を歷史的に見て行かう、そこには大體インテンシブの方向とエキステンシブの方向とが分たれる。

十九世紀末葉のトルストイやドストエフスキー等の文學が人間內部の現實に多く眼を向けたのに對して、バルザツク等はより多く人間外部の現實をその儘平面的に模寫したエキステンシブの代表的作家であつた。

バルザツクは彼と同時代にある三つの主な文學形態即ちイデーの文學、イマージユの文學、文學折衷主義に付て判然と「イデーの文學」に對立させてゐる。

「私は十七世紀と十八世紀の嚴格な方法で、今日の社會を描き得るとは考へない。戲曲的要素や、形象や狀景や、叙述や對話を今日の文學の中に持ち込むことは必要であると思ふ……」と云つてゐる。それ程彼はエキステンシブリアリズムの遵奉者であつたのだ。

日本に於てリアリズムの勃興し始めたのは自然主義運動を中心とした其前後の文學運動を以て指してゐる。

元來明治文學は西歐諸國文藝運動の模倣的輸入によつて完成されたものであり、その第一は自然主義文學の擡頭であるとしてゐる。併し之に對しては私は、確定した肯定を與へ得ない。

成る程元祿時代の西鶴等の抱いたリアリズムが强く逞しい人間を描くことにあつたに對して、近代の文學の持つリアリズムは多分に西歐的、近代的性格を持つてゐる、しかしそこには近代文學に描かれた人間の典型と、さうした人間の形造る社會の反映とがあつたのである。

「人の上に人を造らず」と規定された人間の絕對性は隆盛的氣運と共に一應は肯定されてはゐたが、二十年を過ぎた時代は反射神經や分裂の苦惱に喘ぐ人間達、而もそれでゐて弱々しい自我の覺醒に逡巡してゐる人間達が近代文學の主役を演じてゐる樣になつた。

一言して云ば「近代苦」そのもの―封建思想と近代思想の相剋による―の反映でなければならなかつた。

かゝる近代的なリアリズムは、多く個人の生活に取材した所謂現實暴露の作品となつて現れる外はなかつた。何となれば、インテンシブなリアリズムが、多く浪漫精神に見られエキステンシブなリアリズムは結局文學の意欲が單なる存在世界の見取圖を描くに留つてゐたからである。

恰も西洋密畫のそれの如く忠實なる描寫、平面的な現實の指示がその目的であつた。後に述べるが、それが今に尙ほ自然主義的リアリズムが固持されてゐるのは、單なる卑俗なブルジヨア的理解に過ぎない、而も他の繪畫の世界で現に後期印象派から系統を引く立體派や構成派、シユル・リアリズムまでが相當に正當な地位的理解を有たれてゐるに對して文學が依然として物質的生理的にのみ理解されてゐると云ふいはゞブルジヨア的理解のみしか持たれてゐないのは、一面から云へば傳統的であるとも解釋出來るが、又一方から云へば多分に非進歩的だとも云へるのではなからうか。

エンゲルスがバルザツクを高く評價して、彼の作品に當時の世界が適確に、而も深く把握されてゐるとしリアリスト中の最大なものとしたとしても、決してそれは文學的リアリズムの最高を行くものでもなければ、又、バルザツクの偉大さがそれのみに依つて評價されるのでもないのである。

綠の學

大田洋子「槿花」

文學をやつてゐる女が、ジヤーナリストで後に國策會社の社員になる男と戀愛をし、それがつひに破綻に達するまで、それがひとへに女の立場から書いた小說である。

この作者の嫌ふところかも知れぬが、斯ういふ書き方をされると、一體これは實錄なのか、虛構なのかと言ひたくなつて來る。それらしく、いやに辯解じみた部分や、男をやつつけてゐるみたいな部分が多いのである。一と口に言へば、不純な小說だと言ひたくなつて來る。

それにたどたどしい小說でもある。そこに事變や政界の事などが加はつて居り、水と油と合はんやうな具合を呈してゐる。

苦節何年の作家か知らないが、斯うした身邊小說らしいものを書くといやにボロが出すらしいのは變である。相當長い作で、些か讀むに疲れた。

(御垣衞士)

風

岡谷波津子

暑さは相變らず、骨まで溶かしさうなのだが……。

空が暗く。雲が低くなるにつれて、なま暖かな風が、激しく吹きつける。

その風を、ぼんやり、からだ一ぱい浴びて居ると、疲勞しきつた頭腦の中に、何々もむし〳〵と雜居してゐた想念がいつか少しづつ吹き拂はれて、空虛な、人懷しい、和やんだ感情が、胸の底にうごめいて來る。

それは自然の中だけにある、堪らない人の世の懷しさである。かうした夕暮の中では、自動車の警笛も、馬車の蹄の音も、絕え間ない騷音も皆一つにとけあつて、夢の中で、夢を見てゐるやうな遠い憂愁と懷しみを覺えさせる。

空と雲とが溶け合ふやうな。星と闇とがとけあふやうな。小石と小川とがとけあふやうな、そのやうな中に、何の防禦心も持たないで開け放しの心で、人が一人、呆然と虛空に目と耳を傾けて立つ時。人の世の哀しさは、泣けなくなる迄知つたがその人の世の哀しさまで感謝したくなるのである。自然の微妙さは、どんな傷痕でも柔になでゝ、悅びを與へやうから―。

監獄の作業を生産へ合理化
劃期的統制化企圖

司法部では豫て受刑者の敎化、作業能力の低下防止、並に勞働力の活用といふ多角的な觀點から時局に適應せる作業實施計畫につき、過般全滿各監獄副長、作業科長と演重協議の結果監獄作業豫定收支表を作成、これに基き種々作業經營上の諸問題を檢討したが、結局財源上の困難は普通の作業經營法を以てしては到底所期の計畫を遂行し得ないとの結論に達したので行刑司が中心となり各方面から細密な研究を進めた結果從來の如く各地監獄を單位とせる經營法では資材の入手は不可能であり、所期の目的を達し得ないのみならず、各監の生産力を發揮し得ざるは勿論受刑者勞働力の遺憾なき活用も亦到底不可能な實情なるを以て國家的地位とその保障を獲得すべき作業態勢への基礎工作として經濟情勢の推移に即應せんがため當局では全滿各監の生産力を計畫的に綜合せる統制經營の作業方針を採用するに至つたがこれは明かに監獄作業における自由經營から統制經營への移行であり日本に於て實施困難とされてゐる監獄作業の統制經營を非常時局に即應して着々實現しつゝあるは滿洲國監獄行政の劃期的前進として刮目に値する

即ち從來の如く各監を單位とし作業經營の一切を擧げて各監の自由に委ねて行刑當局は單に經營上の消極的監督に止まつた從來の行刑當局自らが經營の中核として登場、當局は官需局をはじめ中央關係機關と密接な連繫を保ちつつ作業上の協定を締結、所要素材と一定の作業量を確保し各監の生産能力、特殊事情等を考慮してこれに適當作業量の製作分賦をなし以て全監生産力の絶えざる活動を圖り游休による損失を防止せんとする統制經營でありこれにより國家的配給機關たる官需局と國家的生産組織たる監獄作業經營とは茲に特定の業種に於て完全に表裏一體の關係を生ずるに至り、今後の成果に對して各方面から多大の期待がかけられてゐる尙ほ充制經營の圓滑を圖るため行刑當局の採擇せる具體案は左の通りである

一、行刑司職員中に業種別擔任者の人員を增加し、作業統制による事務集中に對處せしむ
一、司法部に物品出納官吏を任命、作業品の購入、保管、配給に當らしむ
一、作業關係職員を臨機各監へ出張せしめ現地指導を行はしむ
一、各監より每週「作業週報」を發行せしむると共に月二回「作業概況報告書」を中央へ提出せしめ中央地方の協調連絡を密にしてその一體化を强化せしむ
一、官需局に駐在員を派遣し、官需物品取扱の迅速圓滑を期す
一、各部局、特殊團體の用度關係者並に生必會社の關係者を招き隨時官需品製作に關する打合せ會議を開催、統制經營の實現完ベキを期す
一、需用科長會議を適宜に開催種々具體的對策を協議以て物資統制の强化に伴ふ資材の入手難を打破目的の完遂を期す

〃商業實態調査〃
國都で全滿に魁け開始

全滿各種物品販賣業者の商業實態と物資配の現狀をきはめこれが適切指導と統制をはからんとする經濟部の「商業實態調査」は各地商工公會や同業公會聯合會を總動員し日滿系兩業者に對しもれなく實施、九月中旬までに「統制下の商賣往來虎の卷」ともいふべき綿密を調査表を完成することとなつたが、國都では十七日全滿に魁けてまづ日系千商店につき新京商工公會調査科員ならびに佐藤、金子兩新京商業敎諭指導下に新京商業上級生廿餘名により調査を開始、引續き新京同業工會の手で滿系四千商店の調査に着手の運びとなつた、なほ調査の要目は

△商號△開業年月日△營業場所△本店、支店、出張所の有無△出資關係△營業種目△營業態樣△資本金△金融現況△店員數△組合關係△在庫高

等の廿項目に別れてゐるが業者側の僞はらぬ報告により中商業者の眞の生活樣相を把握、有效な指導を與へ得られるものなので經濟部當局では業者側の協力方を特に要望してゐる

對外放送の擴充協議會

歐洲大戰の進展に伴つて國際宣傳戰の重要性は益す認識せられ世界各國はこれが擴充に躍起となつてゐるが電々放送部では寛城子二十キロ短波送信機完成を機に對外放送の一歩前進をはかることとなり十八日午後一時から中銀俱樂部に灑田放送部長以下係員及び弘報處、關東軍報道班、郵政管理局、國通、滿鐵などの關係者卅餘名の出席を求めて對外放送懇談會を開催、對外放送の擴充につき協議することとなつた

全滿中等排球選手權大會迫る
組合せチーム嚴選

來る廿一日午前九時から新京日滿商事コートに於て擧行される第二回全國中等學校排球選手權大會の組合せは嚴選の結果左の如く決定した、なほ當日定刻入場式があり試合開始は午前九時半であるまた代表者會議は大會前日の廿日午後八時から國都グリルに於て開催する

△一回戰＝哈爾濱師高對海龍國高、四平街師高對新京文化國高
△二回戰＝吉林四高對龍江國高、曉東國高對奉天六高、哈爾濱師對海龍國高の勝者對大連工業、文化國高對四平街師の勝者對双城國高

豫想

第二回全國中等學校排球選手權大會は來る廿一日新京大同大街日滿商事コートに擧行するが、參加中等學校は大連工業の日系と他は滿系を以てチームを編成した哈爾濱師、奉天省海龍國高、吉林四高、龍江省の龍江國高、四平街曉東國、奉天六高、濱江省双城國高、新京文化國高、四平街師の合計十校に及びこれが輸贏を爭ふが、先づ優勝候補として目されるものは大連工業であり

前年度の優勝校である大連二中を去る六月關東州大會で破る實力から推して本年度の第二回の制覇偉業も再び持ち去られるのではないかと思はれるこれに對等の實力を持つて覇權を狙ふものに奉天六高の存在は大連工業も油斷が出來まい、長身前衛を擁する奉天六高のトスは他チームの脅威とされる、その他黑馬的存在として哈爾濱師、龍江國高、双城國高がある、殊に學生球技は搖籃期の事とて練習如何では向上が早いから全く實力を云々するは困難で豫想は難しい然し乍ら好敵手と多くのチームを持つ都會即ち大連、奉天などは常に對抗意識か强いのが强味である

恩赦に更生

今回の恩赦の大詔渙發に基く安東地方檢察廳管下に於ける恩赦の聖澤に浴した者は死刑二名を筆頭に無期刑、長期刑等五百餘名に及んだ、思はぬ恩赦に浴した人々は何れも眞人間として更生を誓ひ聖澤の深きを感謝、感激、女囚の如きは嬉しさに瞳を泣きはらしてゐたと傳へられる、中にも近日死刑執行を見る身であり乍ら執行通知が未着のためこの恩赦に浴した死刑囚の喜びは大きかつたらう

全滿中等校水上大會
八月四日奉天で開催

第三回全滿中等學校水上競技大會は來る八月四日奉天千代田公園プールに於て擧行されるが主なる要項は次の如し

△種目男子＝「自由形」百米、二百米、四百米八百米「平泳」百米、二百米「背泳」五十米、百米「リレー」二百米八百米
△女子＝「自由形」五十米、百米、二百米「平泳」百米「背泳」五十米「リレー」二百米
△競技方法一人二種目の出場を得（リレーを除く）△一校より一種目三名出場を得△優勝は總得點多き方とす同點の場合は一着の多き學校とす△入賞は六着迄とし六、五、四、三、二一の得點で行ふ
△申込期日及び場所七月廿九日迄に奉天市國際運動場內木谷辰已宛申込むこと

初等校女教員勤勞奉仕志願

「私達も男に負けずに勤勞奉仕を致しませう」と市內初等學校女敎員百五十三名が連名で奉仕志願書を州廳に提出、弛み勝ちな有閑マダムを尻目に銃後女性の意氣を昂揚したがこの願が叶つて愈よ二十一日關東神宮御造營勤勞奉仕を行ふこととなり、隊長聖德高等小學校敎員齊藤サワ子さんに引率され大連驛午前七時四十五分發聖地旅順に向ひ同十時神宮に集合、宮城遙拜、國歌齊唱、國旗掲揚、終つて勤勞奉仕作業、土砂運搬に塗汗を流し四時終了の豫定である

農安縣のペスト猖獗
國都郊外に監視哨

去る十二日農安縣城內に發生したペストは其の後益す猖獗し十六日現在既に八名の眞性患者を續發（何れも死亡）する有樣に首警衞生科では轟に農安新京間の交通制限並に運輸機關の一齊停止を行ふなど必死防疫陣を開始したが十七日から更に農安 新京間の各街道の國都環狀線附近の第三水源地東、小合隆經由の水泉、金錢堡經由の票家營子の三ヶ所に檢疫監視哨を設け各所に十二名の檢疫官を出張させ通行者に對し檢疫を開始した

なほ民生部保健司からも農安縣城內に油井防疫官一行が急行ペスト防疫に當つてゐるが首警では市公署と協力市內の市立醫院、滿鐵醫院、市立保健所、市立衞生試驗所、施療院、滿映水澤公醫、南滿診療所の七ヶ所に於てペストの豫防注射を無料で實施、一般市民の注射勵行を求めてゐる

特別作業班
廿五日頃現地入り

日一日と建設されて行く同村に更に入植開拓民の母村から特別作業班の奉仕隊一行二十五名が來る二十五日頃現地に到着することになつたので同開拓團では之等鍬の勇士を迎へるため萬全の準備を整へ久方振りに聞く故鄕の便りを待ちこがれてゐる

郵生保險急增
滿系の加入目立つ

國勢の進展と民生向上の一端を表示する郵政生命保險はその創設以來急增の一途を辿り、本年六月中に於ける新契約締結數は件數にして二萬八千件、金額五百十六萬圓の多額を示し、本年度に於ける累計は件數十七萬件金額二千八百六十八萬圓に上つてゐる、これを前年同期に比すればその增加割合は件數に於て二割一分金額にして六割七分增を示し、その著增振りは眞に目覺しいものがある

これを一件平均保險料に示せば月額一圓二十二錢保險金額百七十圓强であり、小口保險としては日本、朝鮮に於ける簡易保險の業績を遙に越え現在列國にその比を見ない好調を示して殊に從來儲蓄思想の比較的とぼしいといはれた滿系大衆が七割を越えると云ふ現狀は、保險制度の效用と生命保險思想とが理解され且つ普及した證左であり、一面國家に對する信賴の念が儲蓄報國といふ形體を通じて表現せられたとも云ふべきでこれが今後の增加割合は非常な興味と期待とを持たれてゐる

混合米加減

奉天市の御飯がうまくなる＝奉天市米穀配給組合では今秋十月迄の米の端境期を乘越すための見透がついたので、二十日から水稻（朝鮮米）五割、外米二割五分の混合米を賣出すことゝなつた、現在の水稻二割、外米七割、糯米一割の混合米よりずつと食べよくなり、榮養價も高く、値段は現在の一キロ三十八錢五厘に比べ三錢五厘高となるが麥が入つてゐるので枡目で計算すると新混合米の方が多いので、結局値段は實質的には現在と同じで、品質がよくなつただけ市民の得といふわけ

仙人洞を探る
獵奇を生む傳說

今から千三百年位の昔安奉線高麗門鳳凰城の一帶に高勾麗が據り武威を振つてゐた頃掘つたと傳へられる鳳凰山觀音閣の洞窟は永い間に奇怪な傳說を生み今まで奧を窮めたものがなく洞窟は高麗城址に續いてゐると云ひ又は鳳城縣の門に達してゐると傳へられ地元の人人は勿論登山客も恐れて近づかぬ有樣であつた、此の洞窟は仙人洞と云ひ鳳凰山の登山道を辿つて三官廟から更に胸をつくやうな急峻を登つて觀音閣に達する直下にある、洞窟の入口は怪奇な岩石の重疊する所にぽつかり口をあけ一方は眼も眩む絶壁となり奇怪な傳說と相俟つて肌に粟を生ずる妖氣すらも漂ふ、鳳凰山の溪谷を眼下に見下ろす觀音閣は通志によれば道光四年四月の建立と云ふ相當古いもので絶壁を僅かに掘サクした參拜道があり仙人洞に達する前に大きな岩石の下を梯子で潛る鳳凰洞がある觀音閣に立てば溪谷の底を流れる淸流の淙々たる音がきこえ鶯、かつこう鳥の囀聲が交錯する仙人境である

仙人洞に絡まる傳說と云ふのは三官廟の僧の語るところでは高勾麗が附近に勢をふるつた頃掘つたもので長さ約一滿里（日本里六町）高麗城址に達し、中に廟があり昔から滿人は勿論入口を覗くことすら憚つてゐる、十年程前に一人の滿人が勇敢に中に入つたが遂に出て來なかつた、又洞窟の中には蝙蝠と白蛇がゐて仇をすると云ひ、大龍鳳城街副街長の話では洞窟の中には水がたまり所々に氷が張つてゐる、滿洲事變後王太姑娘匪が鳳凰城を中心に暴れ廻つてゐた頃、負傷して洞窟にかくれ療養した事がある、洞窟の中は恐らくメタンガスのやうな惡瓦斯が充滿してゐると思はれるなどと獵奇的な話題は盡きない、南滿の絶景鳳凰山にこのやうな氣味惡い洞窟があると云ふことは登山客を誘致する上にも支障があるし、ひいては國立公園運動にも差支へることになるから此の際洞窟の正體を究明しようと霖雨に煙る日、萬端の準備を整へて山に登る

一行は安東興の松宮事務主任以下四名、ビユーロー、國通、安東新聞と地元の鳳成街公所と驛から案內を兼ねて數名參加する、山麓まで馬車を驅り霖雨の中を滑りながら三官廟に達したのが正午、廟で晝食をしたため胸をつくやうな急峻をよぢて午後一時觀音閣に至る、玆で一行は防毒衣を着ガスマスクをかぶり左右の手に懷中電燈と拳銃を握りしめる先頭には街公所の案內者が胴中をロープで縛り籠に入れたモルモットを下げて降りて行く洞の中は眞暗い上に肌寒い風が動き冷たい水滴が落ちて來る、中に這入つてみて第一に感じた事は洞窟とは云ひ條これは人爲的に掘サクされたものでなく狹い溪谷に大きい岩石が落下して自然に出來た洞穴であると云ふことだ

天井の部分も石の凹凸があるし土面も大小の石が轉がり山の麓に向つて約十三度の傾斜を爲してゐる、空氣が動いてゐるしモルモットも平氣でゐるのでガスのない事が判りガスマスクをとる、途端に冷たい風と天井からの水滴が襟に落ちて體を冷やす無數と云つてもよい程の蝙蝠が驚いて飛び廻る

一行は互に相戒め前後連絡をとつて足許を要心しながら進む。フト足下に錆びついた小型の鍬の金具を發見した餘り古いものではない、今にも毒蛇毒蟲に襲はれはしないかと神經は鋭く緊張する、白骨が轉がつてゐないかと約五十米も進んだ頃前方が薄明るくなつて來た、〃出口だ〃先頭が大聲をあげる、あまりにあつけない出口である、その出口は鳳凰洞の第一の梯子の登り口に當つてゐる、餘りのあつけなさに一同は暫く呆然としてゐる、洞の中で出會つたのは結局古びた鍬と蝙蝠だけであつたからうしてわれわれは前人未踏と傳へられる洞窟を探險したそして古來云ひ傳へられた傳說が單なる傳說に過ぎないことを窮めた

恐らくいろ／＼な怪奇な云ひ傳へは寺の和尙が山の神秘さと威嚴さを保つ爲め故意に云ひ觸したものではないかと想像される、王太姑娘匪が洞窟の中で傷養生したと云ふのもあの中の狀況では出來ぬことでこれも傳說の部に這入るものであらう、所詮山の傳說として殘しておくべきであつた

今日から本訓練

蜿蜒吉林地區に防衛の幕！

四日間に亘る吉林地區防空演習基礎訓練に續いて管下七百萬(?)の貴重な經驗に最後の猛訓練をみせる綜合演習はいよいよけふ十九日から廿一日までの三日間吉林地區一帶に實施されることゝなつた 滿洲國軍は某國軍と戰鬪を惹起したため十九日早朝全滿に飛んだ「滿洲國に即時防衛の實施を命ず」の命令があつたとの想定下に吉林地區防衛司令部では時を移さず管下全省市民に對して防衛命令を下達したのである、本當の戰はこれからだ「我らの郷土は我らで護れ」三日間の綜合演習に引つゞき有終の美を飾るべく國都をはじめ全省の家、學校、會社等の各防護組は改めて防衛機材を點檢し「敵機いざ來れ」と待ち受けてゐるのだ 過去數日にわたる尊い經驗は既に如何なる敵機の襲撃にもびくともしないだけの心構へと準備とを見せたが總統監部ではこれら防護團體に對して全然時も場所も指摘せず拔打的な査閲を行ひその場で情況を與へて實戰的な活動をなさしめるほか防火、防毒、交通、避難、救護等にも思ひもかけぬ訓練が實施されることゝなつてをりあらゆる機關をあげて空への備へをつくす筈で演習はいよいよ最高潮に達した

基礎訓練終る

新京驛に異狀なし
國都玄關の護りに凱歌

吉林地區防空基礎演習最終日（十八日）拂曉午前三時及び午後一時の空襲については敵機は擊隊或は破損の大損害を受けながらも午後四時半に至つて最後の猛攻撃を開始した、準備訓練三日、基礎演習四日に亘る四十萬國都市民の經驗はすでに完璧の域に達し防水、防毒、救護、避難各訓練に一糸亂れぬ統制ぶりを發揮した、午後四時半全市のサイレンが碧空に谺するとき東拓ビル、滿炭浩寮では小癪な敵の爆撃を受けながらも全防護班一致協力「何糞ッ」の意氣も物凄く必死の防護作業に努めさしも強烈な敵彈を見事一物も損ずることなく消し止めた なほ公主嶺の演習視察中であつた○○總統監は午後四時二十分新京驛着列車で歸京、直ちに空襲警報發令を行つて新京驛構內の防護、避難狀況を視察したが、乘降客で混雜する新京驛では「素破空襲」の聲を聞いて鐵路愛護隊をはじめ驛員總出動のもとに完全な交通整理を行ひ國都玄關の護りいよいよ固きを思はしめ 續いて順天區同治街町會、第一國民高等學校でも全員揃つた自體防護訓練を實施して防衛陣の完璧を誇り、約一時間半にして敵機を擊退せしめ午後六時空襲警報を解除、防衛司令部では午後七時演習軍防衛命令解除を傳達して四日間にわたる基礎訓練の課程を安全に終了した

寫眞說明…滿炭浩寮の放水訓練（上）とあじあ乘客の避難ぶり

防衛に輝く美……談

防空演習下の中央通署管內の東二條通派出所防衛支部に嬉しい數々の美擧——

親子揃つて模範の活躍
一人は第一線に送り一人は補助員に一家を擧げ

祝町の麻生さん

市內祝町分會入船町の麻生磯平さんは今回の防空演習に同町內の防空思想の普及に努め燈火管制の完備、町內員の訓練等の充實に努力してゐたが十七日の同町內に行はれた防毒演習に管制・防毒訓練の完璧陣に折柄巡回中の同署幹部連を感激させてゐた 麻生さんは人望篤く古くから同町內の役員を務め常に町會の向上に努力してゐたもので麻生さんには二人の息子さんがありて御國の爲に鬪つてゐる、補助員に任命された同君の行動は常に衆の模範で今回の演習にも涙ぐましき努力を續け派出所員を感激させてゐるが同派出所では親子揃つての獻身的努力に表彰方の出願を考慮中である

母は重態、任務は重し
廿四孝以上 龜崎氏

龜崎吉太郎さんは今回の演習に補助員を命ぜらるるや毎日率先指導に努力を續けて居たが、數日前から體の弱いお母さんが病床に臥して重態にもかかわらず演習に參加し一意防空の完璧に努力してゐるので同派出所ではいたく感激して居る

自ら買つた女房役
大前ことさん

市內室町ゑり千の大前ことさんは防空演習開始と同時に同支部に詰めかけて男ばかりの支部に「私にも何か手傳せて下さい」と申出てお茶の世話ご飯の用意等となにくれとなく警官、補助員の勞苦をねぎらひ獻身的奉仕に同支部補助員一同は慈母の如く慕ひ感謝してゐる

兵隊さんに感謝
前線の勞苦偲び集ふ慰問品

慰問の獻金獻品篇三つ—滿洲國防婦人會首都本部副本部長關屋夫人外代表者は十八日午前十時關東軍司令部へ訪問第一線に活躍されてゐる兵隊さんにと慰問袋九千八百四十九個（金額二萬九千五百四十七圓）を恤兵獻品した

△モンテカルロ監理人前田義久氏は故春日要男氏の追善供養として十八日午後二時半關東軍へ金一千圓を國防獻金として獻金した

△興安胡同中明寮居住中銀業務課勤務青江秀治氏は亡妻の香奠返しとして十八日午後二時金百圓を關東軍へ恤兵獻金した

燈管下に秩序紊す
不心得市民此處に在り

一燈洩れて全市危し！敵襲下四十萬市民が一體となつて燈火管制、諸訓練に鐵桶陣を布いてゐる十六日夜永樂町二ノ四理研光學工業會社新京支店が空襲を知つてか知らいでか電燈は煌々輝いてゐる有樣に附近に居合せた防護團員はその不用意を詰り消滅させたが、同支店は訓練開始より設備不完全のため燈管最不良で再三再四警告を受けてゐるのにも拘らず一向實行しないのみか、總統監機上視察の當夜の不始末は言語同斷であると所轄中央通署では支店長横尾行一（三三）を留置取調べてゐるが他にもかゝる不心得者がゐる模樣でそれらは嚴罰一歩前に速かに諸設備の完備をなすとゝもに演習を實戰と思ひ眞劍味を持つことが望まれてゐる

全國中等學校劍道大會出場

目指す武道の榮冠
京商生晴れの壯途

全滿武道豫選大會に於て優勝の榮冠をかち得た新京商業劍道部選手上原、伊藤、北梶山、本田、中澤、小林、藪之本君等一行八名は小高敎諭引率の下に文部省主催全國中等學校劍道大會、武德會主催全國中等學校劍道大會へ出場のため十九日午後九時四十分新京驛發一路勇躍必勝を期し遠征の壯途につく

勤奉鑛工隊

結成式

滿洲建設勤勞奉仕隊鑛工隊結成式は十八日正午から新京國防會館で開催、明治專門、秋田鑛山、北大、阪大、東大、九大、熊本高工、早大、京城高工、京城工專、大同工業の十一校九十七名から成る鑛山隊全員出席、鑛工技術員協會中島理事の開會の辭に次いで皇居遙拜、國歌合唱をなしたのち古海中央實踐本部次長から今や全國民が總力を擧げて國家に寄與するの秋、諸君等の義務たるや特に重且大である、どうか國策の一翼として各自の持場に全力を盡されん事熱望する旨の訓辭があつた

やさしい兄です
大任を無事に
出世喜ぶ東條機矩郎氏

東條英機中將の陸相決定の報に喜ぶ同中將の實弟（故英教中將五男）東條機矩郎（四二）氏は吉林鐵道會社に在職中であるが、同氏は一週間ほど前仙鐵局から人造石油の傍系たる吉鐵に入社したばかりで兄英機中將の陸相決定の報を齎すと

ほう、兄が大臣になりましたか、實は私は此方に來る途中の兄の家に二、三日滯在して來たばかりですが、それは何しろ嬉しいことです、大任を無事果して貰ふやう祈つてゐます、兄は私の口から云ふのもおかしい話ですが非常にやさしく兄弟や親戚の面倒をよく見て呉れます、又父の馬丁をしてゐた宇都宮の金谷喜太郎と云ふ老人が昨年七十近くで亡くなるまで十年間もその生活を助けてゐたと聽いてゐます、私も今度は滿洲で骨を埋める決心でやつて參りましたが兄に負けず一生懸命にやる覺悟です

と語れば長男の陽一君（一五）が傍から

伯父さんは自分が云ふと何でも買つて呉れ、いい伯父さんです、でも惡いことをするとおこられるのでこわい伯父さんです

と語るのであつた なほ同氏は兄中將に似てなかなかのスポーツマン大正十四年中央大學法學部出身、家庭はみつよ夫人と長男洋一（一五）君長女園子（九）さんの二兒がある

最後の御奉公
頑張つて貰ひたい
叔父外相を語る松岡三雄氏

四十二對一の焦土外交の思出も新たに昭和非常時外交を背負つた松岡洋右氏の令甥奉天郵政管理局長松岡三雄氏に朗報を齎せは「叔父が外相になりましたか、叔父と云ふより私には親爺と云つた方がぴつたり來るですよ」と冒頭して語る 肉親的に見ても好々爺で

私の父（洋右氏の兄）と一緒にアメリカに渡り、父が死んでから私達兄弟（三雄氏令兄は目下在米中）には親代りで大學を出る迄世話になりました滿鐵にゐる時よく新京の私の家に來てどんな忙しい時でも一緒に食事をしたものです昨年十月東京に行つた時、健康を害してゐたのでそれだけが心配です、松岡自身としては今度の御目見得は陛下から赤紙の御召しと心得てゐることと思ひます嘗て代議士を辭し政黨解散を叫んだあの初志が今達成されんとしてゐるのですからきつと感慨無量だと思ひます、かの滿洲事變の時もさうだつたが松岡は矢張り事件男の感が深くもう年だからこれが最後の御奉公と頑張つて貰ひたいです

國技に青春動員
青年學校で土俵開き

角道普及、體位向上を目指してかねて土俵構築中であつた新京青年學校ではいよいよ此の程完成したので教務部から松本氏外二名、室町小學校々長、青年學校々長、同職員、生徒參列、新京神社神職の手で嚴かな土俵開きを執行 次いで各クラスより本場所ならぬ青年學校場所に熱戰が展開される筈

四日目勝負

大相撲滿洲場所（奉天）四日目は早朝から打鳴らされる櫓太鼓に好角家が續々押寄せ午前中早くも大滿員の盛況を呈した、この日東西三役陣その他順調に進み番狂せはなかつた、中入後成績次の如し

駒ノ里（寄切り）佐渡ヶ島
若浪（吊出し）十三錦
武ノ里（寄切り）楯甲
九ヶ錦（上手投）櫻錦
相模川（寄切り）鶴ヶ嶺
二瀬川（寄切り）龍王山
富士嶽（打棄り）神東山
佐賀花（吊出し）肥州山
磐石（押出し）綾若
出羽湊（寄切り）旭川
大潮（上手投）藤ノ里
笠置山（寄倒し）大浪
綾昇（押出し）巴潟
照國（押切り）大邱山
安藝ノ海（吊出し）松浦潟
名寄岩（吊出し）兩國
羽黒山（寄切り）大和錦
前田山（吊出し）金湊
打出し六時

白國への郵便物送達禁止

歐洲大戰の擴大による送達ルート危險のため十六日以後當分の間滿洲國よりベルギー、ルクセンブルグ及びオランダ向通常郵便物（オランダ宛普通書狀及び普通葉書を除く）は一切送達を禁止されることとなつた

晒木棉にも切符制

米穀の配給圓滑を期して商工公會では八月一日よりの切符配給を發表、目下大童となつて施行準備を急いでゐるが、これに次ぐ第二陣晒木綿の切符配給を發表した

この切符制は七、八、九の三月間に亘る需要量の切符配給で家族數四人までは半反、それ以上四人增す毎に半反增配する事になつてゐる、申込期日は廿二日より廿四日迄その配給は商工公會より配給證明を受け一般は各呉服店、消費組合加入者は消費組合で購入することとなつてゐる、又出產用としては特に別則が設けられ一反宛別に配給するがこの場合に於ては產婆の說明書を必要とする

忌明に寄附

十七日吉野町二ノ二四今井藥局今井佐太郎さんは故和江さんの忌明に當つて香奠返しに市公署へ乳幼兒愛護健康相談の費用にと金一封を寄附した

足球部局大會
試合日程組合せ決定

體育聯盟新京事務局主催の足球部局大會は全新京の強豪を網羅して七月二十日より兒玉公園競技場に於て華々しく大會の幕を開くが組合せ、日割は左の如し

第一回戰 司法部—中央銀行
第二回戰 行政學會—建築局
第三回戰 協和會—交通部
第四回戰 民生部—治安部
第五回戰 1の勝者—2の勝者
第六回戰 3の勝者—4の勝者
優勝戰 1 2の勝者—3 4の勝者

日割
△七月二十日（土曜日）午後三時半入場式 一回戰四時 二回戰五時四十分
△七月二十一日（日曜日）一回戰四時 二回戰五時半
△七月二十七日（土曜日）一回戰四時 二回戰五時
△七月二十八日（日曜日）優勝戰—四時

なほこの大會終了後本社主催足球大會を開催する

日光見物へ
滿洲學童使節

【東京發國通】見學交驩と目まぐるしい使節日程の大半を終へた學童使節一行は十八日午前八時廿分上野發列車で日光見物に赴いた、一行は中禪寺湖畔泉屋旅館に一泊十九日夕歸京の豫定

橋本前本部長挨拶

今回建國神廟御創建に伴つて祭祀府總裁に任命された協和會中央本部長橋本虎之助氏は十八日午後二時同會職員全部を協和會館に集めて中央本部長辭任の挨拶を行つた【寫眞は橋本總裁の挨拶】

七分鳩

今日は寛城子事件の廿二周年に當る、當時の狀況は本紙昨夕刊の横山大同學院教授の實戰談にあつた通りだ 其頃長春にゐた邦人は約六千、滿鐵地方事務所長は今東京にゐる平島達夫氏、領事は不在で新山といふ官補がゐた、警察署長は亡くなつた橋本清愼警視、警察官も出動、一人戰死した

×

支那側は陶吉長道尹、たしか今興銀にゐる啓彬氏が外交し交渉員で事件結末の衝に當つた筈、在鄉軍人は百五六十、ソレといふので蹶起義勇軍を組織し邦人防護の盾となつた、現在の永樂町三友社主四戸友太郎步兵大尉が在鄉軍人會長で指揮に當つた

×

義勇軍と云つても兵器は何もない、でも日本刀は相當あつた、たまに獵銃や拳銃をもつてゐるものもあつた素手でも立ち向ふ元氣に溢れた頼母しさ、漸く守備隊から輕機一架を借りて來て附屬地境に据えたといふ始末、現在の鄉軍の威容に比べたら全く噓のやうな話である（寫眞は四戸氏）

けふの天候 南の風晴たり曇つたり驟雨模樣
きのふの温度 最高 二九度八 最低 一六度四

世紀の英雄 (109)

番　伸二
夏目　醇　畫

錦道と川端(四)

『母さん、先へ歸つてよ。殊によると今晩御飯いたゞかないかも知れないから食べてゝね。あけみさんの話の都合で永くなるかも知れないから』

智津子はさう言ひ乍らせわしくハンドバックから赤い小さな金入れを出した。

『何の話なの?』

『一寸した事よ』

あけみの跡を追ふと、川沿ひの往來を東洋劇場の方へ行くそれらしい姿がすぐ發見出來た。

智津子の横をすりぬけた二三台の自動車の頭燈が先きに歩いて行くあけみの後姿をはつきり描き出しては行きすぎるのだつた。

あけみに追ひつくと、つと肩を叩き乍ら、

『あけみさん、一寸』

と呼んだ。

あけみは肩に障られた瞬間それこそ飛上る程驚いて振り向いた。

『まあ、どうしたの?』

智津子は幾筋となく照して來る頭燈にはつきり映し出されたあけみの驚愕の表情をみてあきれるやうに言つた。

『あたし、あたし、本當にびつくりしたわ』

『あんたの神經、隨分尖つてゐるのね』

あけみが近頃たてつゞけに喰ふ惡評の爲神經衰弱になつてゐると噂をきいたがこんなに驚くのでは矢張り噂は本當なのであらうと思つた。

どちらかと言へば昔から氣の弱いあけみだが、こんなに迄なつてしまつたと思ふと智津子はたまらなく可哀さうになつて來た。

『あのね、一寸訊いて貰ひたい事があつたものだから追つかけて來たのよ』

さう言つた言葉の中にも智津子の相手に對する氣持ちは反映したとみえ、

『なあに』

訊きかへすその言葉も優しかつた。

『益滿さんの事なの、これから劇場へ歸つたら一寸外へ來るやうに計らつてくれない、誰にも知れないやうにソツと呼んでね』

二人は並んで川沿ひの往來を歩き出した。

川の對岸にある帝都劇場の燈火が水にチラリ〳〵と碎けて、そこだけは淀んだ水でも流れてゐるやうにみえるのだつた。

『貴方の お稽古は もう直ぐ?』

『いゝえ、八時頃からでせう一時間位あつてよ』

『ぢや、あるいてもかまはない?』

『ええ。……ねえ、智津子さん、ここの所泊りのお稽古が續いたから益滿さんと話すまがなかつたでせう。こんどは達夫さん達も皆泊りなのよ』

ひやかすなんて事があけみにも出來るのかとくすぐつたくなり乍ら、

『てんでよ。てんで會ひもしないの。電話をかけても迷惑になるといけないと思つてそれさへしないわ』

『他の人にかけて貰へばよかつたのに』

『頼む人が居ないんですもの。今夜みたいに貴女に會へればねえ……』

『毎日顏を一日中會はしてゐたのに急に話も出來なくなつたら不便でせう』

『さうね? でも爭議中、こんな事はチョイチョイあつてよ。もつともあの時は何か用があつたらいくらでも大手を振つて通信する事が出來たけど』

『さう』

と、あけみは言つて口をつぐんだ。彼女の瞳の底に暗い雲が走つた。ほころびかけた彼女の氣持ちは爭議の話にふれて丈々しぼんでしまつたのだ。

列車發着表

○大連方面行
- △大連行 前二時三十分
- △奉天行 六時廿五分
- △釜山行 九時
- △奉天行 八時廿五分
- △大連行 九時三十分
- △營口行 十時三十分
- △四平街行 十二時三十分
- △奉天行 後一時 五分
- △[illegible]行 一時四十分
- △大連行 二時三十分
- △大連行 三時廿五分
- △四平街行 四時五十分
- △釜山行 六時五十分
- △四平街行 七時四十分
- △大連行 九時四十分
- △大連行 十一時十三分
- △奉天行 十一時三十分

○哈爾濱方面行
- △哈爾濱行 前三時四十二分
- △德惠行 五時十五分
- △哈爾濱行 六時三十分
- △哈爾濱行 八時 十分
- △哈爾濱行 九時
- △哈爾濱行 後十二時五十二分
- △哈爾濱行 三時十五分
- △哈爾濱行 五時三十分
- △德惠行 七時 十分
- △哈爾濱行 十時卅五分
- △牡丹江行 十一時四十五分

○圖們方面行
- △吉林行 前七時 五分
- △羅津行 八時卅五分
- △圖們行 九時四十五分
- △吉林行 後一時
- △牡丹江行 三時二十分
- △吉林行 七時廿五分
- △清津行 十時 五分

○白城子方面行
- △白城子行 前八時廿五分
- △白城子行 十時五十五分
- △前郭旗行 後五時三十分

○大連方面より
- △大連發 前三時卅二分
- △大連發 六時十八分
- △奉天發 七時四十五分
- △大連發 八時
- △四平街發 八時四十六分
- △四平街發 九時四十分
- △四平街發 十時卅二分
- △釜山發 十一時四十二分
- △奉天發 後十二時三十分
- △大連發 三時
- △大連發 四時十二分
- △大連發 五時二十分
- △營口發 六時四十八分
- △大連發 八時二十分
- △奉天發 九時廿五分
- △釜山發 九時四十五分
- △奉天發 十一時三十分

○哈爾濱方面より
- △德惠發 前零時三十分
- △哈爾濱發 二時二十分
- △牡丹江發 六時五十四分
- △哈爾濱發 前七時五十四分
- △德惠發 十一時三十分
- △哈爾濱發 後十二時五十分
- △哈爾濱發 一時三十分
- △哈爾濱發 三時 十分
- △哈爾濱發 六時四十分
- △哈爾濱發 九時三十分
- △哈爾濱發 十一時三分

○圖們方面より
- △清津發 前七時五十二分
- △吉林發 十一時廿四分
- △牡丹江發 後二時 十分
- △吉林發 五時廿一分
- △圖們發 八時四十分
- △羅津發 九時三十分
- △吉林發 十一時十五分

○白城子方面より
- △前郭旗發 十二時 一分
- △白城子發 後六時卅二分
- △白城子發 九時 五分

大阪商船出帆
- 吉林丸 七月二十日
- らぷらた丸 七月廿一日
- 扶桑丸 七月廿二日
- うすりい丸 七月廿三日
- 熱河丸 七月廿四日
- さんとす丸 七月廿五日
- 鴨緑丸 七月廿八日
- うらる丸 七月廿九日
- 黒龍丸 七月三十日

門司、神戸行(午前十一時大連出帆)
三角、鹿兒島那覇行 大阪丸 五月廿四日 午後三時大連發
事務所=大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビューローで連絡切符發賣